

201SJ 標準セット 取扱説明書

Ver 1.7 版

ソフトバンク株式会社

～目次～

■ 1編 はじめに ■	3
1.1. はじめに	3
1.2. 機器の説明	3
1.3. 安全上のご注意	4
1.4. 機器構成	11
1.5. 付属品	12
1.6. 知的財産権および所有権について	13
1.7. 輸出の制限	13
1.8. USIM カード取扱のご注意	13
■ 2編 準備(接続) ■	14
2.1. 設置工事上のご注意	14
2.2. 全体接続図	14
2.3. IP 無線機を固定する	14
2.4. IP マイクを固定する	15
2.5. 端末本体(USB スティック)を取り付ける	16
2.6. GPS アンテナを取り付ける	16
2.7. 電源を接続する	17
2.8. ACC ケーブルを接続する	19
2.9. 車両のバッテリーについて	19
■ 3編 操作編 ■	20
3.1. IP 無線機	20
3.1.1. 各部の名称とはたらき	20
3.1.2. 電源を入れる	22
3.1.3. 音量の調整	23
3.1.4. 呼出モードの切替(モードスイッチ利用有無「ON」時)	23
3.1.5. 発信の方法	23
3.1.6. 電源を切る	23
3.2. IP マイク	24
3.2.1. 各部の名称とはたらき	24
3.2.2. 電源を入れる	25
3.2.3. 呼出モードの切替	26

3.2.4. 発信・通話の方法	28
3.2.5. 着信・通話の方法	34
3.2.6. 通話する	36
3.2.7. 状態設定の方法	37
3.2.8. 録音・再生の方法	39
3.2.9. 液晶コントラスト調整の方法	40
3.2.10. 機器情報	40
3.2.11. グループ	42
3.2.12. バックライトの設定	44
3.2.13. 発信履歴・着信履歴の方法	45
3.2.14. メッセージ受信機能	49
3.2.15. ショートカット(短縮)登録の方法	51
3.2.16. 非常送信機能(RED ALERT)	54
3.2.17. 番号帳の閲覧方法	55
3.2.18. 待受画面発信	56
3.2.19. 待受設定	56
3.3. 端末本体(USB スティック)	57
3.3.1. 各部の名称とはたらき	57
■ 4 編 仕様 ■	60
4.1. 環境仕様	60
4.2. 機器仕様	60
■ 5 編 こんなときは ■	63
■ 6 編 アフターサービス ■	65
6.1. 保証期間	65
6.2. 免責事項	66
6.3. 盗難に遭った場合	66
6.4. ご利用を停止される場合	66
6.5. 修理のご依頼	67
6.6. お問い合わせ先	67

■ 1 編 はじめに ■

1.1. はじめに

この度は当社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用前に、「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。特に安全上のご注意は、必ずお読みいただき、正しくお使いください。

なお、取扱説明書は、ご使用中にわからない事が生じた時に参照できるように保証書と一緒に大切に保管してください。

1.2. 機器の説明

本製品は、以下の3つの機器から構成されます。

(1) IP 無線機

本システム機能を基幹する装置です。通話を行う上での音声-IP 変換機能、スピーカ音の調整、GPS 情報の取得および送信、相手局との発着信などを行います。詳しくは、「3.1 IP 無線機」をご参照ください。

(2) IP マイク

IP 無線機に接続して使用します。相手局との通話の他、発信先の指定や、状態設定、メッセージ受信、録音再生などを行います。詳しくは、「3.2 IP マイク」をご参照ください。

(3) 端末本体 (USB スティック)

IP 無線機に接続して使用します。内部に USIM カードを挿入して使用します。ソフトバンク携帯通信網を経由して、本システムを管理するクラウドサーバとの接続を行います。詳しくは、「3.3 端末本体 (USB スティック)」をご参照ください。




1.3. 安全上のご注意

<ご使用のまえに>

表示の説明

この取扱い説明書および装置への表示には、装置を安全に正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷(※1)を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷(※2)を負う可能性が想定される場合および物的損害(※3)の発生が想定される」内容です。





※1:重症とは、失明・けが・高温やけど・低温やけど(体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱などの症状を起こすやけど)・感電・骨折・中毒などで、後遺症の残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをいう。

※2:軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいう。

※3:物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害を指す。





絵表示の説明










次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止(してはいけないこと)を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制(必ず実行していただくこと)を示します。

IP 無線機、IP マイク、端末本体、USIM カードの取り扱いについて (共通)

警告

 分解禁止	<p>分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。</p> <p>火災・けが・感電などの事故または故障の原因になります。本装置の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。</p>
 水濡れ禁止	<p>濡らさないでください。</p> <p>水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置すると、発熱・感電・火災・けが・故障の原因となります。使用場所取り扱いにご注意ください。</p>
 指示	<p>自動車への取付は、販売代理店または専門の工事業者に委託してください。</p> <p>誤った配線などにより装置の故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>高温になる場所（車のダッシュボードの上、火のそば、暖房機器のそば、直射日光が当たる場所など）で使用・放置しないでください。</p> <p>機器の変形・故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。</p>

 禁止	落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
 禁止	本装置の隙間などに金属や異物を差し込まないでください。 発熱・発火・感電や故障の原因となります。
 注意	
 禁止	本装置を車載用としてご使用になる場合、確実に固定してください。 故障・事故の原因となります。
 禁止	本体が破損したまま使用しないでください。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
 禁止	本装置に磁気カードなどを近づけないでください。 キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
 指示	本装置を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。
 指示	譲渡・解約等で本装置のご利用をおやめになる場合は、電源をOFF にして USIM を取り外した上で、地方自治体に定められたルールに則り本装置を処分してください。
 指示	乳幼児の手の届かない場所に保管してください。 誤って破損したり、けがなどの原因となります。

IP 無線機の取り扱いについて

警告



コードを無理に曲げたり、束ねたりして傷つけないでください。
破損につながりショートや発熱により火災、感電の原因になります。



指定以外の外部接続機器を使用しないでください。
故障の原因となり大変危険です。

注意



車両構造やアンテナの取付位置により、通話ができない場合や通話範囲が狭くなったり、雑音が入ったり通話が途切れる場合があります。また、設置後において電波状態の変化により使用できなくなることがあります。



電源ケーブルは、直接バッテリー以外からは接続しないでください。



GPS 衛星の電波は熱反射ガラス、熱線入りガラスなどで劣化する可能性があります。
GPS アンテナは電波を適切に受信できる位置へ取り付けてください。



GPS 衛星の電波が適切に受信できない状況では位置情報にずれを生じる場合があります。



IP 無線機のスイッチの切り忘れによる車両バッテリーの過放電には充分ご注意ください。



本装置は周囲の環境による電波障害や受信状態によって通話ができなくなる場合があります。

IP マイクの取り扱いについて

警告



コードを無理によじる、引っ張る、踏みつけないでください。
破損につながりショートや発熱により火災、感電の原因になります。



指定の IP 無線機以外では使用しないでください。
故障の原因となり大変危険です。



万が一、内部に水や金属などの異物が入った場合は、IP 無線機の電源スイッチを切り、電源ケーブルを外して、お買い求めの代理店にご連絡ください。
そのまま使用すると火災・故障の原因となります。

注意



運転の妨げとならない場所に取り付けてください。
事故の原因となります。



万が一、IP マイクのディスプレイ部を破壊した際、割れたガラスや露出した本体内部にご注意ください。
誤って割れた破損部や露出部に触れるとけがの原因となります。

端末本体の取り扱いについて

警告



運航の安全に支障をきたす恐れがありますので、航空機内では使用しないでください。



高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは本装置の電源を切ってください。
電子機器が誤作動するなどの影響を与える場合があります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

USIM カードの取り扱いについて



警告

 禁止	<p>USIM カードに無理な力を加えないでください。 破損する原因になります。</p>
 禁止	<p>本装置へ USIM カードを脱着する際、必要以上の力をかけないでください。 USIM カードまたは、本装置の破損、手や指を傷つける原因となります。</p>
 禁止	<p>他社製品の IC カードを本装置に取り付けしないでください。 本装置が故障する恐れがあります。また、指定以外のものを使用した場合、データ消失や故障の原因となります。故障した場合、お客様の責任となり、当社では一切の責任を負いません。</p>
 禁止	<p>IC 部を傷つけないでください。また、ショートさせないでください。 故障の原因になります。</p>

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会[平成9年4月]）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」の内容を参考にしたものです。）

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部分から 15cm 以上離して携行及び使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



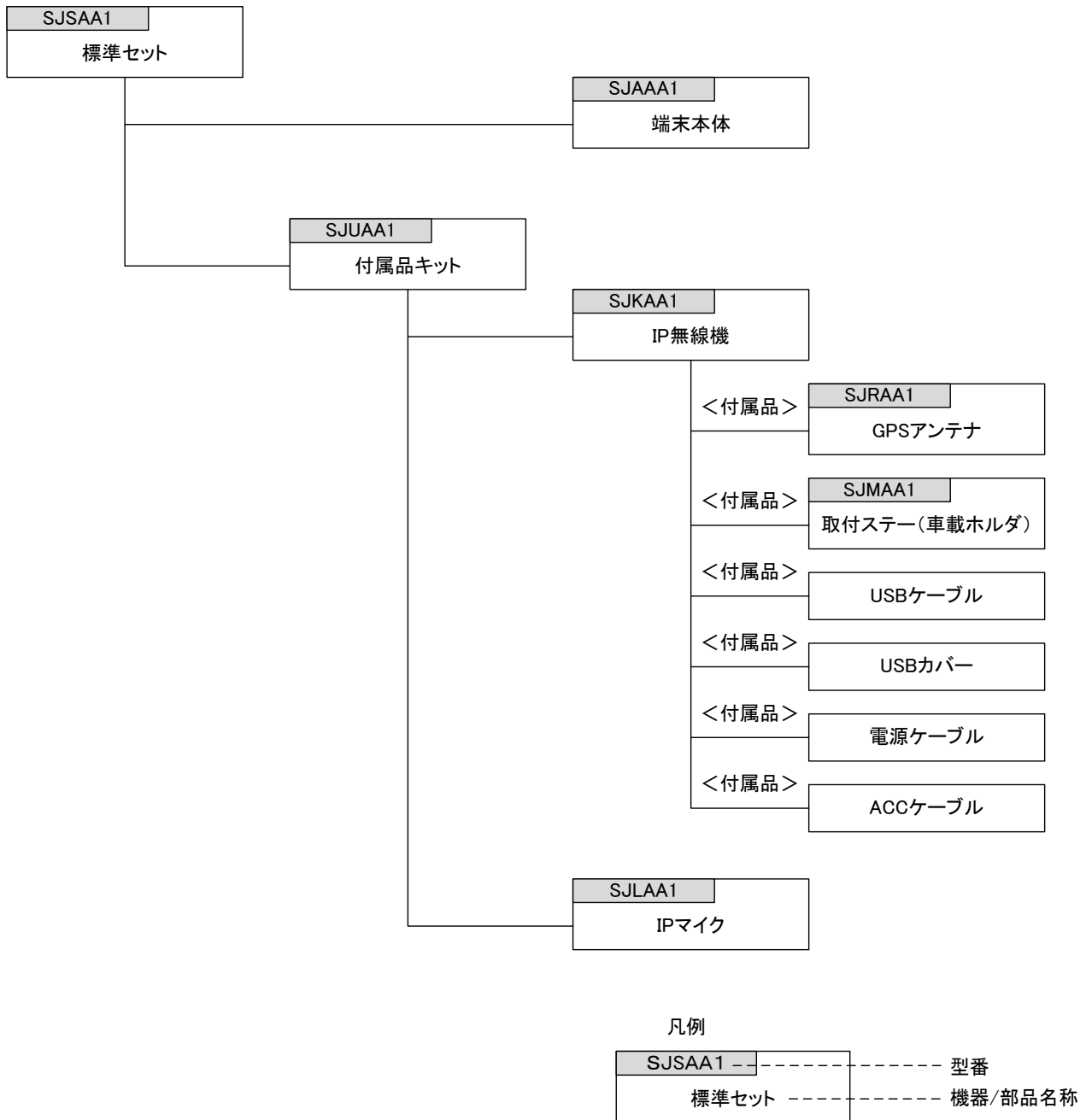
指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本装置の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

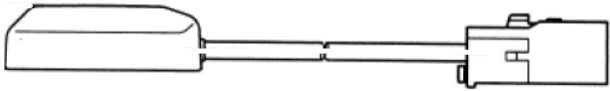

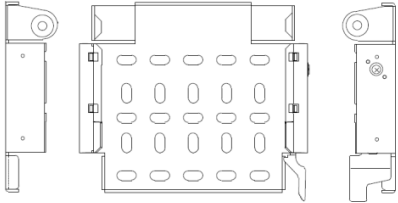
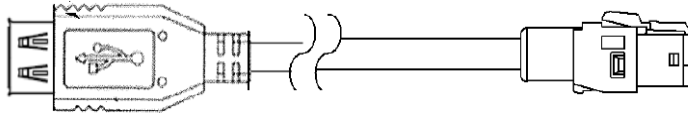
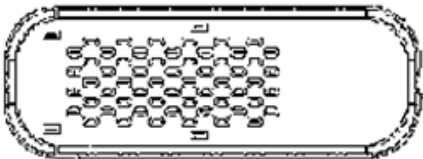
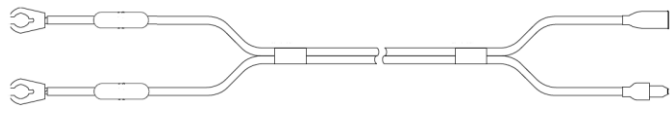
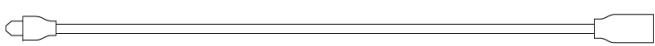
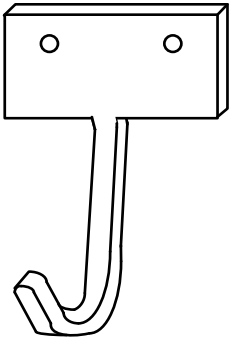
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、本装置を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本装置の電源を切ってください。
- 電源が自動的に入る設定（タイマー設定など）をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、近くに医用電気機器があるときは本装置の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

1.4. 機器構成

本装置は以下の通り構成されております。



1.5. 付属品

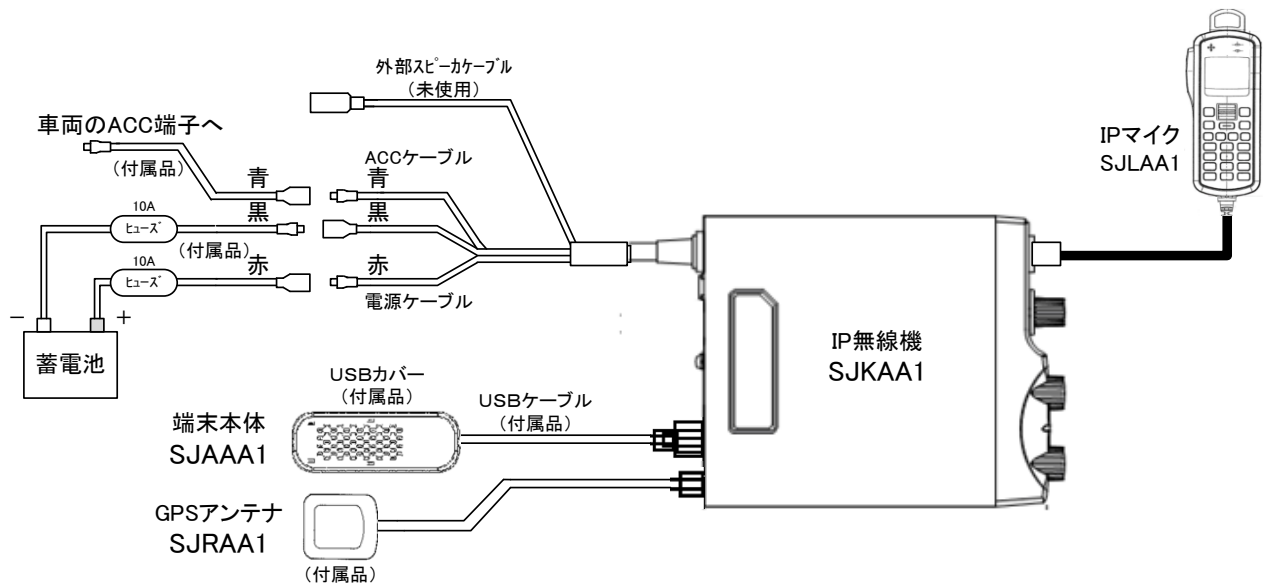
No	機器	付属品	数量	図・内容
1	IP 無線機	GPS アンテナ	1個	
		取付 ステー	1個	
		ねじ類	4セット	
		USB ケーブル	1本	
		USB カバー	1個	
		固定ねじ	2本	
		電源 ケーブル	1本	
		ACC ケーブル	1本	
		ヒューズ	2個	<p>電源用</p> <p>★ヒューズの使い方は 2.2 全体接続図および 2.7 電源を接続する を参照してください。</p>
2	IP マイク	掛け フック	1個	
		取付ねじ	2本	

■ 2 編 準備(接続) ■

2.1. 設置工事上のご注意

本装置の取付・装備には、専門の技術が必要となります。又、取付・装備に伴う各種手続き等が生じますので、本装置を車両へ取付・装備する際は、お買い求めの弊社代理店・特約店へご相談ください。

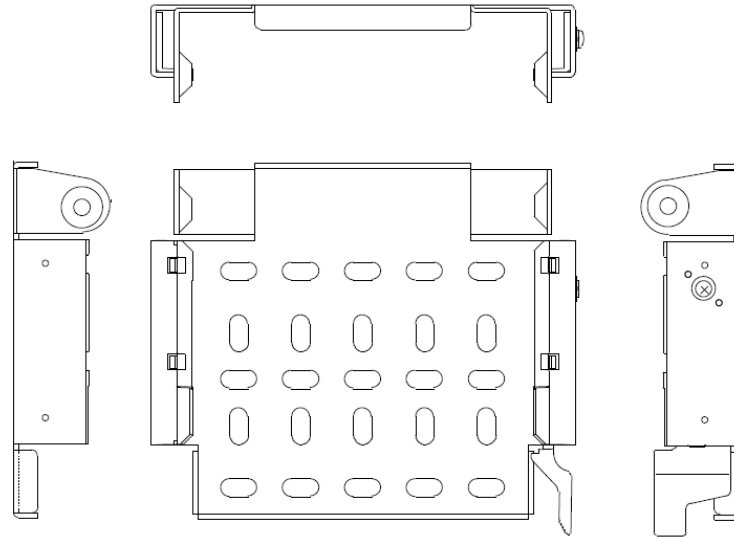
2.2. 全体接続図



2.3. IP 無線機を固定する

<取付ステーを取り付ける>

- ① 付属品の取付ステーを車内のなるべく平らな面に取り付けます。
- ② なるべく取付ステー周辺の穴 4 つを使用して確実に取り付けてください。
- ③ 次に IP 無線機を取付ステー前面から挿入し、側面のレバー (1 箇所) がしっかりロックするまで押し込んでください。

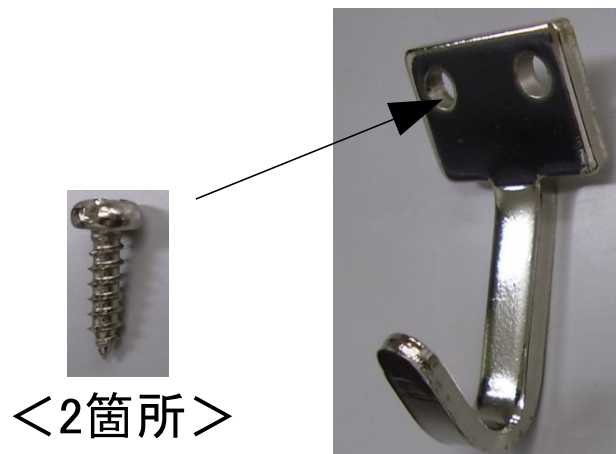


取付ステー

2.4. IP マイクを固定する

<IP マイク掛けフックを固定する>

- ① 掛けフックに付属されている止めビス 2 個を使い、希望の位置に取り付けてください。ただし運転に支障をきたす位置への設置はおやめください。
- ② 添付されている掛けフックは、付属の IP マイク専用です。IP マイク以外の機器の固定等には用いないでください。



<IP マイクを固定する>

- ① IP マイクを IP 無線機操作部のマイクコネクタに接続します。マイクコネクタは、“カチッ”という音がするまで確実に差し込んでください。
- ② マイクコネクタを外すときは、コネクタのハウジング部矢印部を引くことにより簡単に外すことができます。この時ハウジング部を故意に回転させると、コネクタ部を破壊しますので回転させないでください。

2.5. 端末本体(USB スティック)を取り付ける

- ① 専用の USB ケーブルのモールド側に端末本体を装着し、USB カバーを取り付けてください。
- ② USB ケーブルを IP 無線機背面の USB 接続コネクタ（ロック付き）に接続してください。
- ③ 端末本体はダッシュボード下やセンターコンソール側面およびフロントピラー部へ両面テープにより取り付けてください。電波を適切に受けられる場所に設置してください。



禁止

ダッシュボードの上など直射日光の当たる高温になる部位への取付は、機器の故障につながりますので、絶対に行わないでください。

2.6. GPS アンテナを取り付ける

- ① GPS アンテナを IP 無線機背面の GPS 外部アンテナコネクタに接続することにより、衛星からの位置情報が受信できるようになります。
- ② GPS アンテナは基本的に車外に設置するようにしてください。車内に設置した場合、電波を適切に受けられない事があります。電波を受信できない場合、本システムのサービスの一部機能が使えなくなります。なお、GPS アンテナのケーブルを伝って、IP 無線機に水が入らない用に、ケーブル配線にご注意をお願いいたします。
 - ★ ビルの谷間や山間部など GPS 衛星を捕捉しづらい場所では、上記の通り設置した場合においても、装置起動時において GPS 測位に数分を要することがあります。
 - ★ 洗車機を使用する場合は、取り外してください。

2.7. 電源を接続する



注意

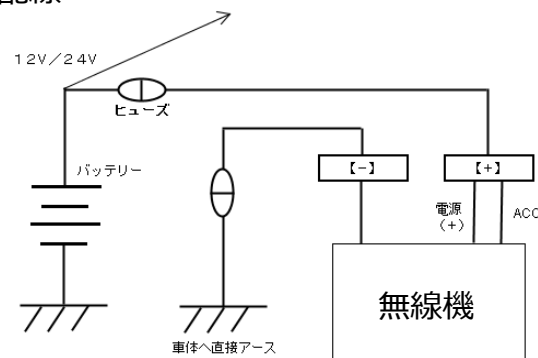
車両の電源工事は火災等の大事故につながる危険性がありますので、お買い求めの販売店にお任せください。

電源はバッテリーに直接接続してください。ACC 端子は、車両のアクセサリ端子に接続して下さい。IP 無線機の電源は、ACC 端子に電圧が加わり、操作部の電源スイッチが接になった時点で電源が ON になります。

もし、アクセサリ端子が使用できない場合は、ACC 端子を電源の(+)端子に接続することで対応できます。

しかしこの場合、車両のエンジンを停止し、キーを抜いても IP 無線機の電源は断(OFF)になりません。車両を離れるときは IP 無線機の電源スイッチを必ず OFF にしてバッテリー上がりがおこらないよう十分注意してください。

車両配線



本装置は、12V/24V 車両専用設計されております。(*1)

(*1)24V 車両でお使いの場合、バッテリーの中間電位点から 12V を取り出すとバッテリーの片減りをおこして思わぬ事故の原因となりますのでおやめください。

IP 無線機の電源は、赤が(+)極、黒が(-)極です。間違って逆に配線すると、IP 無線機の保護回路が動作し、保護ヒューズが溶断します。

IP 無線機の電源ケーブル、ACC ケーブル、GPS ケーブル、USB ケーブルを車両のコンソール内に収容する際は、車両火災防止のため、配線材の収まる位置をシガレットライター後部等の発熱部から十分な距離を確保し発熱部に接触しないよう注意してください。

本装置には、車両内配線用に 3m の電源ケーブルが付属されていますが、工事に際して、余ったケーブルを束ねて収納せず、付設の状況に合わせて必要最低限の長さに切断してください。

電源ケーブルを車両のバッテリーに配線する際は、付属の電源ケーブルの先端を半田上げせず、専用の圧着端子(別途購入)を圧着加工して取り付けてください。

※製品本体から出ている電源ケーブルの切断は改造となるため絶対におやめください。

電源の配線に際しては、バッテリーの極性を十分確認し、誤接続が無いように十分注意してください。

バッテリーに電源を配線する際は、最初に車両バッテリーの(+)、(-)両極の配線を外してください。この状態で(+)極を車両電源ケーブルの(+)側に配線します。誤接続がないことを確認し、(-)極を車両電源ケーブルの(-)側に配線します。

次に車両側電源ケーブルの(+)極をバッテリーの(+)極に接続します。最後に車両側電源ケーブルの(-)極をバッテリーの(-)極に接続します。

この手順を誤ると、工事の過程で誤って工具が車両ボディと接触した際にバッテリーをショートさせる危険性がありますので、必ず配線手順を守ってください。

IP 無線機を車両へ実装する際は、IP 無線機の電源ケーブルを車両バッテリーへ直接接続してください。車内ヒューズボックスあるいはシガレットライター部から配線しないでください。装置故障につながる可能性があります。

また、IP 無線機の電源ケーブルと車両バッテリーを接続する際は、接続不良や断線等があった場合、過度な電圧が IP 無線機に印加され故障につながる可能性がありますので、ご注意ください。なお、バス、ダンプカー、ミキサー車等の特殊車両に取り付ける際は、特殊車両の利用方法によっては過度な電圧が IP 無線機に印加され故障につながる可能性がありますので、販売店にご相談ください。

2.8. ACC ケーブルを接続する

IP 無線機側 ACC ケーブルと車両側 ACC 端子を接続することにより、車両 ACC 状態に連動して本装置を ON/OFF させる事が可能です。

(ただし IP 無線機側の電源スイッチは ON であることが必要です。)

車両側の ACC 端子を利用できない場合は、IP 無線機側の ACC ケーブルと電源ケーブル(+)を共に車両側電源へ接続してください。

この場合、車両の ACC 状態に連動せず、エンジンを停止させても本装置の電源は OFF になりません。(*2)

本装置の電源 ON/OFF は IP 無線機の電源スイッチで行ないます。

(*2)ACC ケーブルを電源に接続した場合、IP 無線機の電源を ON にしたままでのバッテリー上がりに注意してください。

2.9. 車両のバッテリーについて

車両のバッテリーが古くなると、電源電圧が低下し本装置動作が不安定になることがあります。特に発信状態では大きな電流が必要になるため、着信時と比べてバッテリー電圧は大きく低下します。

- ① バッテリーの電源電圧は規定(12V)以上有りますか？
- ② 電源ケーブルの端子はきちんと接続されていますか？(端子の腐食等により接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。)
- ③ 電源ケーブルに挿入されているヒューズに異常は有りませんか？(端子の腐食等により接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。)
- ④ 指定の電源ケーブルを使用していますか？(電源ケーブルが細いと、電源ケーブルでロスが生じ電源電圧が低下する事があります。)
- ⑤ IP 無線機の電源はバッテリーに直接配線していますか？(車内のヒューズボックスから配線すると、車両側のケーブルロスにより電圧が低下する事があります)。

■ 3編 操作編 ■

3.1. IP 無線機

3.1.1. 各部の名称とはたらき



(図 1) IP 無線機

(表 1) 各部の名称とはたらき

No	名 称	働 き
①	電源スイッチ／音量スイッチ	押すたびに電源 ON/OFF を繰り返します。又、回すことにより着信音量を変えることができます。 時計方向に回すと音量が増加し、反時計方向に回すと音量が減少します。
②	状態インジケータ	状態を LED 表示します。(1 灯 5 色) 色分けは、別表 (表 2) に記載しています。
③	ブザー音量スイッチ	着信音等のブザー音の音量を調整します。

④	呼出モード スイッチ	<p>呼出モードを切り替えます。</p> <p>A:一斉/C:指令局/1~13:グループ番号^(注1)</p> <p>一斉、指令局、グループのモード切り替え。15種まで設定可能。</p> <p>周り止め付き。左いっぱいまわして、Aでとまる。</p> <p>モードスイッチ利用有無が「ON」の場合、No.13に合わせ、FボタンまたはModeキーの押下で、録音再生機能が動作します。</p> <p>★設定ツールで機能を有効に出来ます。</p>
⑤	マイクコネクタ	IPマイクを接続します。

(注1)指令局がモードスイッチAで発信すると強制一斉に、移動局が発信すると通常の一斉になります。

(表 2) 状態インジケータ (LED) 表示

状態	LED 点灯	GPS 利用有無設定	GPS LED 色設定
3G 圏内+GPS 測位	青点灯	ON	—
3G 圏内+GPS 未測位	黄点灯	ON	—
3G 圏外	赤点灯	ON	—
3G 圏内 ^(注 2)	黄点灯	OFF	黄
3G 圏外	赤点灯	OFF	黄
3G 圏内 ^(注 2)	青点灯	OFF	青
3G 圏外	赤点灯	OFF	青
通話開始 (中)	緑点灯	/	/
呼出開始	緑点滅		
一斉、強制一斉呼出			
グループ、強制グループ呼出			
個別呼出			
指令局			
近隣呼出			
地域呼出			
不在着信	白点滅 (点滅時間は 10 分間と無制限を設定 ツールにて選択出来ます。)	/	

(注 2)GPS 利用有無にて「OFF」設定時は、GPS 未測位時の LED を黄点灯と青点灯を設定ツールにて選択出来ます。GPS 未測位の状況は、GPS 受信不能、IP 無線機 GPS 受信機能故障、アンテナ故障 (ケーブル抜け含む) で発生する可能性があります。

3.1.2. 電源を入れる

操作部の電源スイッチを押します。スイッチを押したあと『ピッ』と鳴って電源が ON になります。^(注 3)『ピッ』と鳴るまで数秒かかります。その後 LED で状態が示されます。

(注 3)ACC を用いている場合、車両のキーを ACC の位置にセットする必要があります。

3.1.3. 音量の調整

音量スイッチを回してお好みの音量に調整します。時計方向に回転させると音量が増加し、反時計方向で減少します。

3.1.4. 呼出モードの切替(モードスイッチ利用有無「ON」時)

呼出モードを切り替えます。

- A:一斉
- C:指令局
- 1~13 : グループ番号

一斉、指令局、グループのモード切り替えを行います。15 種まで設定可能です。周り止め付きで左いっぱいまわして A の位置で止まります。

IP マイクの非常スイッチによる非常送信(RED ALERT)、メッセージの確認は利用可能です。番号帳の閲覧、履歴表示(着信・発信)、IP マイクによる呼出モードの切替は利用できません。

3.1.5. 発信の方法

IP マイクのプレストークスイッチを押します。IP 無線機は発信状態となり、LED が状態に合わせて点灯/点滅します(表 2 参照)。

3.1.6. 電源を切る

操作部の電源スイッチを押します。(注4)

(注4)ACC を用いている場合、車両のキーを停止の位置にセットすることで本装置の電源も OFF になります。

3.2. IP マイク

3.2.1. 各部の名称とはたらき

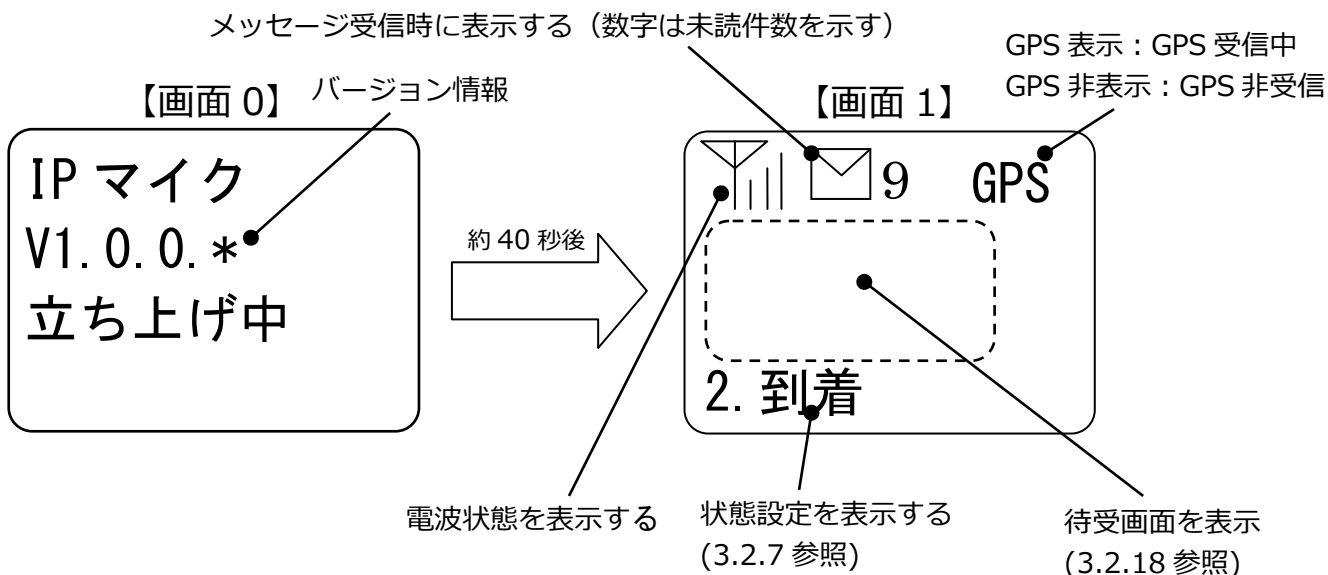


(図 2) IP マイク

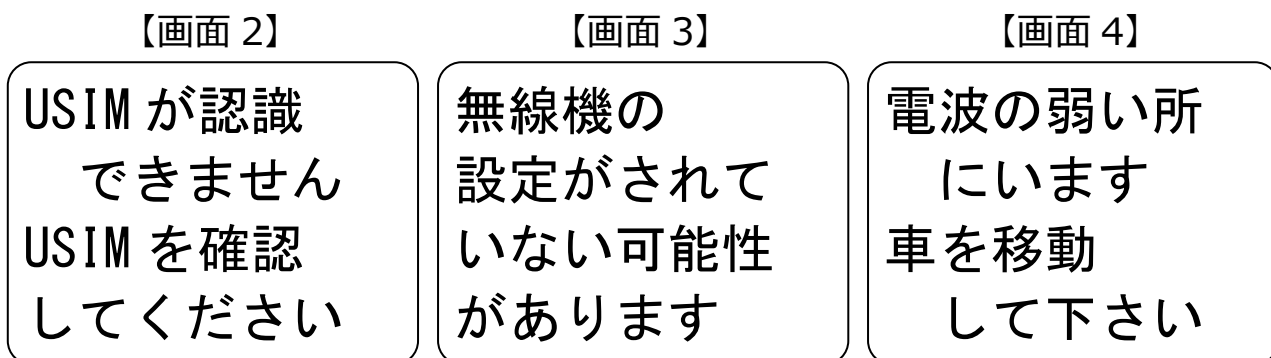
3.2.2. 電源を入れる

IP 無線機の電源 ON 後、40 秒程度で待受画面【画面 1】が表示されます。

※IP マイク設定ツールにおいて、テンキー無効設定をしている場合、待受画面ではテンキー入力ができなくなります。



IP 無線機の電源 ON 後に、下記の表示となった場合は、電源を OFF にし、以下に従って対処してください。



【画面 2】 USIM カードが認識できていない状態ですので、端末本体に USIM カードが挿入されているか、もしくは正しい USIM カードが挿入されているかを確認してください。

【画面 3】 無線機の設定が初期状態(工場出荷状態)の可能性があります。無線機のパラメータ設定を行ってから再度ご使用ください。

【画面 4】 電波環境が悪く通信が接続できない状態ですので、本装置を利用する場合は電波環境の良い場所に移動してください。

3.2.3. 呼出モードの切替

【画面 1】で **Mode** を順番に押すと、

→ 一斉 → 強制一斉 → G → 強制 G → 個別 → 指令局 → 地域 → 近隣 →

と呼出モードが切り替わります。

一斉 : 一斉呼出

強制一斉 : 強制一斉呼出(IP マイクにより設定時表示)

G : グループ呼出

強制 G : 強制グループ呼出(IP マイクにより設定時表示)

個別 : 個別呼出

指令局 : 指令局呼出

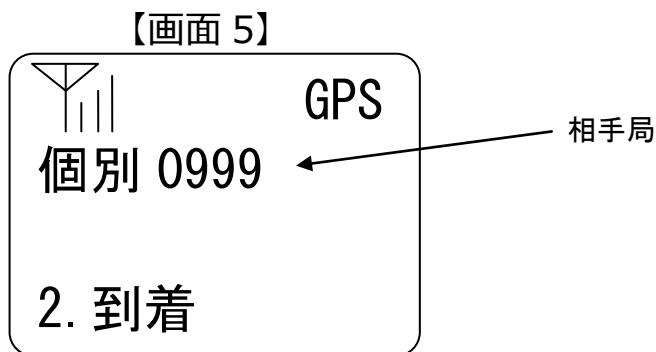
地域 : 地域呼出

(IP マイクにより設定時表示、オプションサービス加入時利用可能)

近隣 : 近隣呼出 (移動局のみ)

(IP マイクにより設定時表示、オプションサービス加入時利用可能)

例 : 個別呼出にするには、**Mode** で「個別呼出モード」を選択してからテンキーで相手局番号を入力します【画面 5】



※ IP マイク設定ツールにて設定した呼出モードのみ表示されます。

※ 呼出モード選択時の初期値は待受設定と連動して表示されます。

最終通話 : 最後に該当呼出モードで通話した相手

発信履歴 : 最後に該当呼出モードで発信した相手

着信履歴 : 最後に該当呼出モードで着信した相手

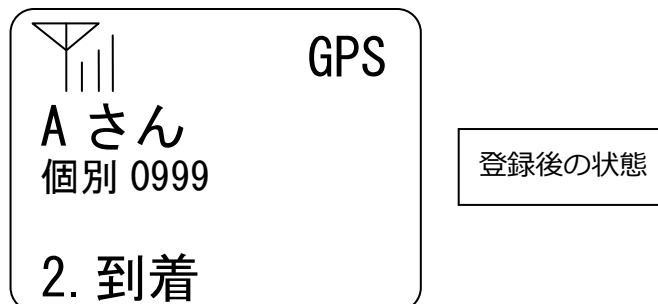
デフォルト : デフォルト相手先設定により指定した相手

※ 番号帳登録時は以下のように表示されます。

【画面 6】



【画面 7】



3.2.4. 発信・通話の方法

(1) 個別呼出の場合

Mode で「個別」を選択し、テンキーで相手局番号を入力すると、個別呼出モードになり相手局番号が設定されます。

(表 3) 呼出モードの表示内容

呼出モード種類	画面上の表示	番号の桁数
個別	個別	4 桁

【画面 8】



戻る : 【画面 1】へ戻ります

【画面 8】でプレトークスイッチを短押しすると接続 OK で【画面 10】、接続 NG で【画面 11】の表示になります。

【画面 9】



発信中の IP 無線機と接続中の時

F または **Mode** : 発信をキャンセルして【画面 5】へ戻ります

【画面 10】



発信した IP 無線機と接続 OK の時

または : 通話を切断して
【画面 5】へ戻ります

【画面 11】



発信した IP 無線機と接続 NG の時

または : 【画面 5】へ戻ります

【画面 11】の(通話失敗理由)欄には、失敗原因別に下記を表示します。

- | | |
|----------------|----------|
| (1) 接続タイムアウト | : 接続失敗 |
| (2) 相手先通話中 | : 呼出先通話中 |
| (3) 存在しない G 呼出 | : 呼出先誤り |
| (4) 自分への呼出 | : 呼出先誤り |

再度、同一車番に発信をかけるには、【画面 11】のままプレストークスイッチを押し、発信を行います。終話は IP マイクの または を押すか、IP 無線機の連続通話タイムアウト処理で終話し設定ツールで設定した待受画面に戻ります。(3.2.19 待受設定参照)

発信中に IP マイクの または を押すと発信をキャンセルすることができます。キャンセルすると待受け画面に戻ります。

- ★ IP マイク設定ツールにて、RBT を設定している場合は、RBT 呼出対象となります。
- ★ 異なるバージョンの無線機間で発信は正常に接続できない場合があります。無線機とマイクのバージョンは必ず最新バージョンでご利用ください。

(2) 個別呼出以外の呼出モードによる発信の場合

Mode を押して個別以外の呼出モードに設定し、テンキーで番号を入力します。なお、指令局から他の指令局呼出・一斉呼出はできません。

(表 4) 呼出モードの表示内容

個別以外の呼出モード種類	画面上の表示	番号の桁数
一斉	一斉	—
強制一斉	強制一斉	—
グループ	G	3 桁
強制グループ	強制 G	3 桁
指令局	指令局	2 桁
地域	地域	2 桁
近隣(移動局のみ)	近隣	—

【画面 12】



グループ呼出時の表示例

戻る : 【画面 1】 へ戻ります

【画面 12】 の状態でプレトークスイッチを短押しすると接続 OK で 【画面 14】、接続 NG で 【画面 15】 の表示になります。

【画面 13】



発信中の IP 無線機と接続中の時

または : 発信をキャンセルして
【画面 5】へ戻ります

【画面 14】



発信した IP 無線機と接続 OK の時

または : 通話を切断して
【画面 5】へ戻ります

【画面 15】



発信した IP 無線機と接続 NG の

または : 【画面 5】へ戻ります

再度、同一呼出モードに発信をかけるには、【画面 15】のままプレストークスイッチで発信を行う。終話は、IP マイクの または を押すか、IP 無線機の連続通話タイムアウト処理で終話し、設定ツールで設定した待受画面に戻ります。(3.2.19 待受設定参照)

【画面 11】【画面 15】のように終話状態で相手局番号が表示されている時に、テンキーを押すと、呼出モードはそのままで新しい局番を設定することができます。また、**Mode** を押すことで、次の呼出モードに移行することができます。

- ★ グループ、強制グループ、一斉、強制一斉、地域、近隣呼出を行った際に、着信側により F/プレストーク個別切替(P36 参照)が行われた場合、通話が強制的に終了し、個別呼出の着信(P34 参照)状態となります。
- ★ 移動局からのグループ、強制グループ、地域、近隣呼出には指令局も含まれます。指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
- ★ 移動局からの指令局呼出、グループ呼出、地域呼出、近隣呼出、音声モニタにおいて、呼出対象となる指令局が話中の場合、次に若い番号の指令局が自動的に呼出対象となります。(指令局の転送機能<すべり>)
- ★ 指令局呼出、グループ呼出、地域呼出、近隣呼出、音声モニタにおいて、申込み時に「すべり OFF」を選択されている場合は、指令局が通話中の場合、指令局への接続は NG になります。また、移動局からの一斉呼出において、指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
- ★ IP マイク設定ツールにて、各呼出モード（一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出）において RBT を設定している場合は、RBT 呼出対象となります。
- ★ 異なるバージョンの無線機間で発信は正常に接続できない場合があります。無線機とマイクのバージョンは必ず最新バージョンでご利用ください。

(3) 自無線機が属していないグループへの発信を規制する場合

IP マイク設定ツールの設定により無線機が属していないグループへの発信を規制できます。ただし、地域呼出、近隣呼出や、IP マイクでグループ表示 (P42) を一度もしていない場合は発信規制されません。また、位置情報サービス画面でグループ情報を変更した場合、IP マイクでグループ表示しなければ、最新のグループ情報での発信規制はされません。発信できない場合の画面表示は【画面 16】となります。

【画面 16】



発信不可時の表示例

戻る : 【画面 1】 へ戻ります

発信・着信・通話の際には表 5 に記載するアラーム音が IP 無線機より鳴音されます。

(表 5) アラーム音

種類	状態	意味
ピッ	電源 ON	電源が正常に ON されたとき。
ピッ	プレストークスイッチ押下	プレストークスイッチを押したとき。(通話時のみ)
プッププッ ・・・	指令局呼出發信	指令局呼出を開始したとき。
ピロッ、ピロッ、 ピロッ、・・・	個別呼出發信	個別呼出を開始したとき。
プー、プー、プー、 ・・・	一斉呼出發信 強制一斉呼出發信	一斉呼出、強制一斉呼出を開始したとき。
ピロピロッ、 ピロピロッ、・・・	グループ呼出發信 強制グループ呼出發信	グループ呼出、強制グループ呼出を開始したとき。
ピッロッピッロッ	地域呼出發信 (注 5)	地域呼出を開始したとき。
ピロピッピロピッ	近隣呼出發信 (注 5)	近隣呼出を開始したとき。
ピピ	個別呼出着信 グループ呼出着信 強制グループ呼出着信 一斉呼出着信 強制一斉呼出着信 近隣呼出着信 地域呼出着信	個別呼出、グループ呼出、強制グループ呼出、一斉呼出、強制一斉呼出、近隣呼出、地域呼出を受けたとき。
ピピ	接続完了、通話開始	プレストークスイッチが押され、接続が完了したとき。
ププ	連続通話タイムアウト 機能予鈴	連続通話を防止する機能。 連続通話タイムアウトタイマ動作まで残り 10 秒になったとき。

プー	連続通話タイムアウト機能動作時	連続通話を防止する機能。連続通話タイムアウトタイマ(本タイマは、5秒程度の誤差があります)が動作し、通話が OFF になったとき。
ピー	終話 ^(注6)	終話したとき。
ブブー	発信失敗	相手先話中などで発信が失敗したとき。
ピー、ピー、ピー、 ・・・	不在着信通知	着信を受けて、通話を開始しなかったとき。(通知時間は10分間、または、無制限です)
ピーポー	メッセージ着信音	メッセージを受信したとき。(他の鳴動中、通話中の場合は、鳴動しません)

(注5)オプションサービス加入時利用可能且つIPマイクに設定時機能有効となります。

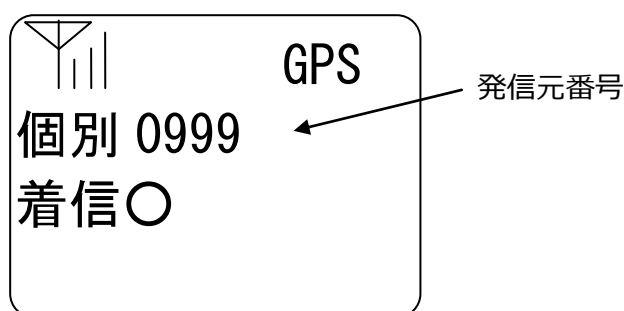
(注6)IP無線機の設定で、終話音鳴動有無を設定できます。

3.2.5. 着信・通話の方法

(1) 個別呼出の着信の場合

着信があるとIP無線機の着信LEDが緑点滅して、点灯すると【画面17】になり発信元番号が表示されます(番号帳に登録している名称を優先して表示します)。そのまま、プレトークスイッチを押すと通話ができます。着信時に発信元が特定できなかった場合には、発信元番号が空白で表示されることがあります。

【画面17】



IPマイクの **F** または **Mode** を押すと、終話(着信側終話)^(注7)することが可能です。

(注7) IP無線機の設定で終話設定を「発呼側+着呼側」に設定する必要があります。

なお、IP無線機を「不在着信通知有無：指令局」「不在着信通知有無：指令局+移動局」と設定している場合には、指令局または移動局からの個別呼出に対して通話を開始しないと不在着信通知が表示されます。不在着信通知時のLED表示、アラーム音については、それぞれ表2、表5をご確認ください。

【画面 18】



最新の不在着信より通知時間のタイマーカウントが開始します、また、通話中でも通知時間のタイマーはカウントが進みます。

(2)個別呼出の着信以外の場合

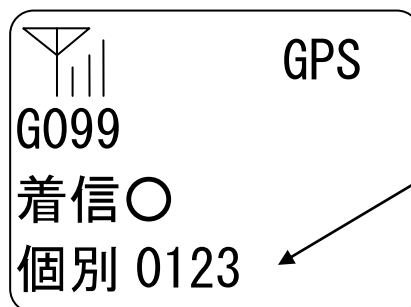
一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、地域、近隣の着信があると IP 無線機の着信 LED が緑点滅して、点灯すると【画面 19】になり発信元番号が表示されます（番号帳に登録している名称を優先して表示します）。そのまま、プレストークスイッチを押すと通話が出来ます。

発信元番号には、発信を行った局の番号が表示されます。指令局の場合、指令局 01～指令局 15 の番号が表示されます。

最下行には通話者(プレストークスイッチ押下者)を表示します。

着信時に発信元が特定できなかった場合には、発信元番号が空白で表示されることがあります。

【画面 19】

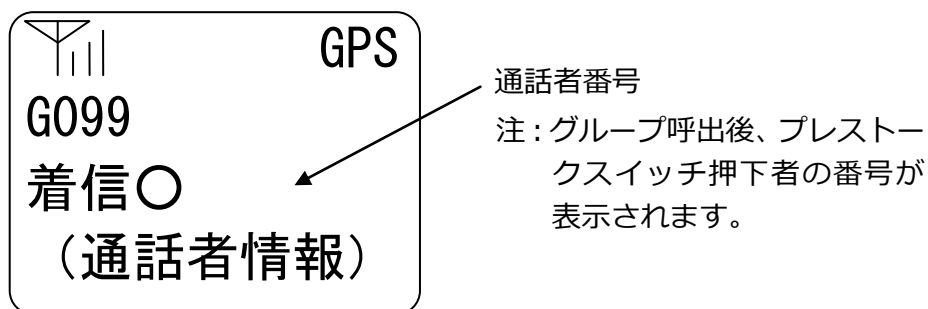


発信元番号

注：グループ呼出を行った発信者の番号が表示されます。

グループ呼出時の表示例

【画面 20】



一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、地域、近隣の着信後、F/プレストーク個別切替(**F**) または **Mode**) あるいはプレストークスイッチ押下)^(注 8)を利用すると、着信側から発信側への個別呼出を行うことができます。

(注 8) IP 無線機の設定で F/プレストーク個別切替を「F 切替」または「プレストーク切替」に設定する必要があります。

- ★ 音声着信が可能な状態で、IP マイク操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態となります。

(3) 通話離脱をする場合

グループ通話・強制グループ通話・一斉通話・強制一斉通話を行っている時に、IP マイクの **Menu** を押下することでその通話から抜ける(離脱)ことができます。^(注 9) 本機能は地域呼出・近隣呼出での使用は対応しておりません。

※発信者が通話離脱した場合、終話は「無通話タイムアウト」か「連続通話タイムアウト」でしか終話できません。

(注 9)IP マイクの設定で通話離脱機能を設定する必要があります。

3.2.6. 通話する

通話時は、IP マイクに口を近づけお話しください。ただし、あまり近づけて話をすると、通話音声が歪む事があります。

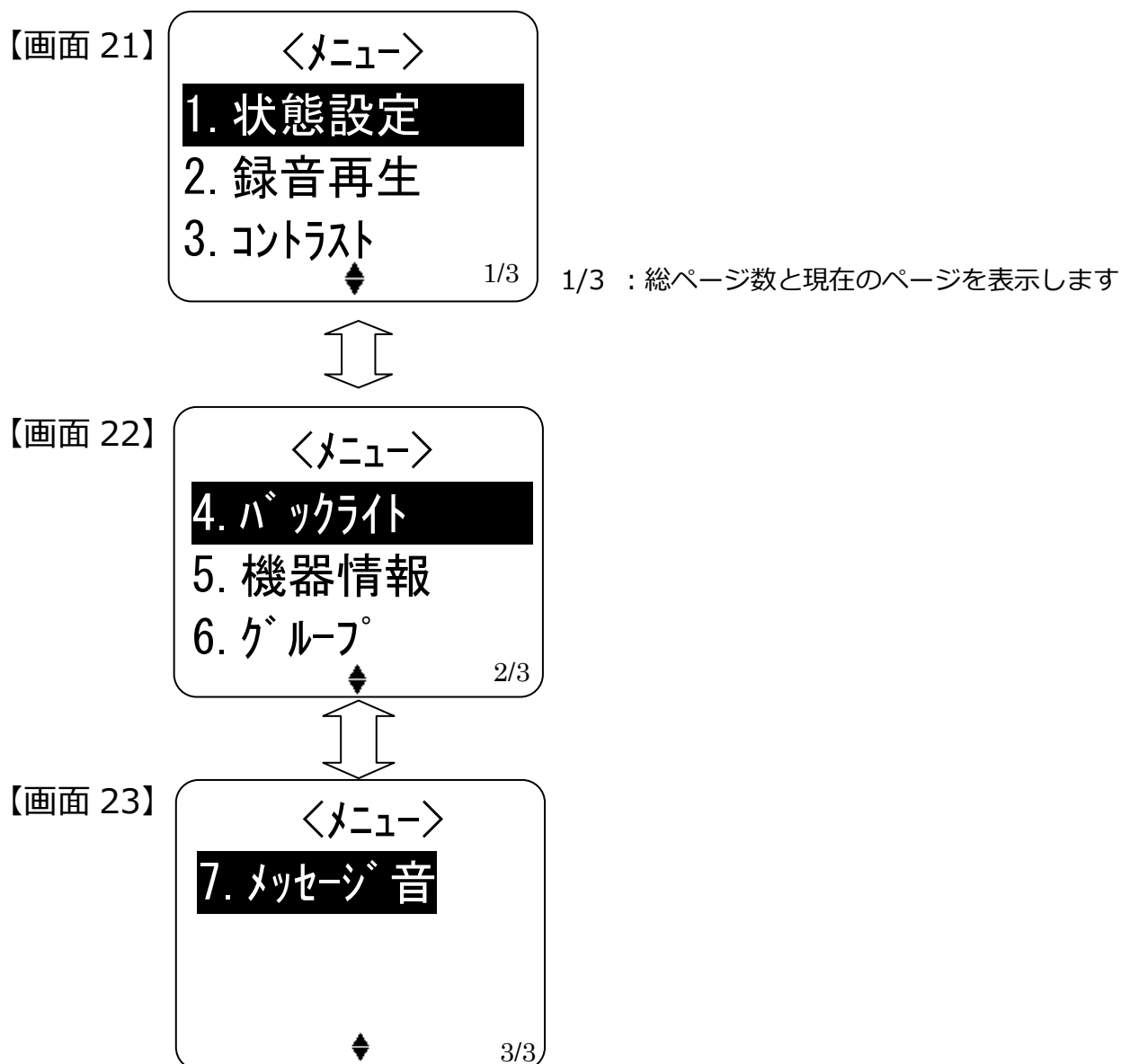
また、プレストークスイッチを押してから間を空けずに通話を開始すると、通話の頭が途切れる事があります。このような場合は、プレストークスイッチを押してから一呼吸おいて通話を開始してください。

本装置は、相手呼出中は『プツ、プツ、プツ、・・・』等の呼出音が鳴り、相手と接続が成功した際には、『ピピッ』という音で通話開始のタイミングを通知します。この音を待ってから通話を開始することで話頭の切断を防止することができます。

- ★ 『ピピッ』等のアラーム音の一覧は、3.2.4 発信・通話の方法（表 5）をご参照ください。

3.2.7. 状態設定の方法

Menu を押すと、【画面 21】が表示されます。



「1.状態設定」を **←** で選択し、**決定** を押すと、【画面 24】が表示されます。

※状態設定後は、選択した状態を含むページに遷移します。

← で反転表示を上下して、状態を選択し **決定** で設定するか、テンキーを押します。

【画面 24】

＜状態設定＞

1. 移動中
2. 到着
3. 荷降ろし中

◆ 1/4

戻る : 【画面 21】 へ戻ります

1/4 : 総ページ数と現在のページを表示します



【画面 25】

＜状態設定＞

4. 積荷中
5. 渋滞
6. 回送

◆ 2/4



【画面 26】

＜状態設定＞

7. 貸切
8. 休憩
9. 帰社

◆ 3/4



【画面 27】

＜状態設定＞

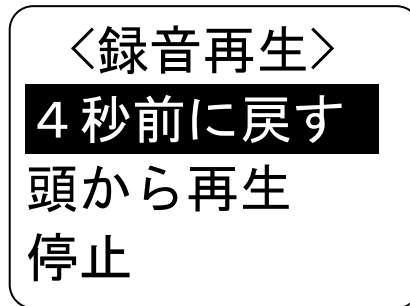
0. 登録解除

◆ 4/4

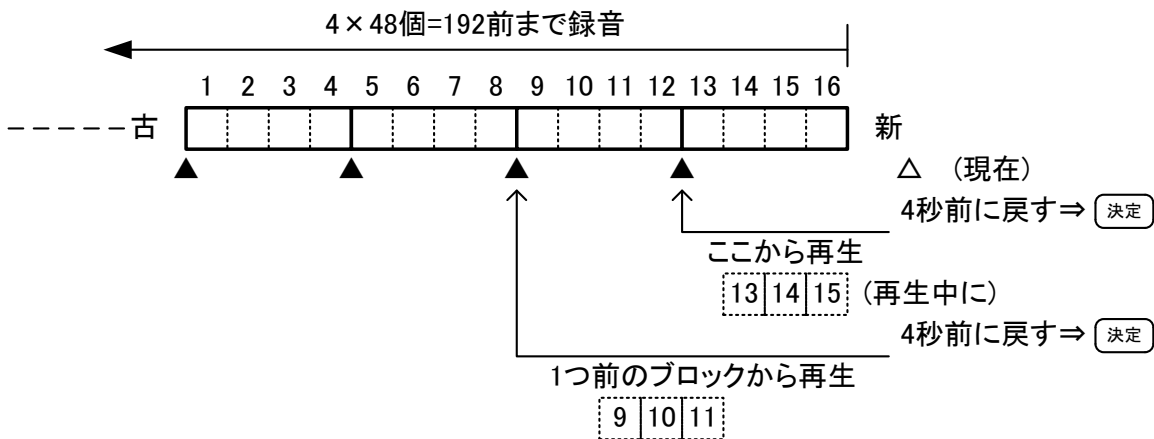
3.2.8. 録音・再生の方法

【画面 21】 から「2.録音再生」を選択すると、【画面 28】が表示されます。

【画面 28】



- (1) 「4秒前に戻す」を選択し を押すと、4秒前から再生します。再生中に「4秒前に戻す」を選択し を押すと、現在の再生開始時点よりさらに4秒前に戻って再生されます。さらに4秒前に戻す場合は、この操作を繰り返します。(最大で48回:192秒)



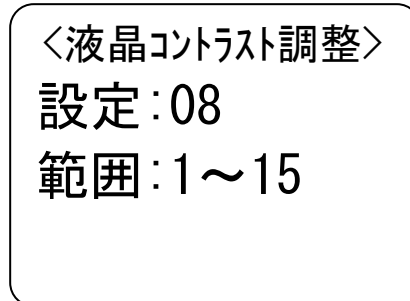
- (2) 「頭から再生」を選択すると、一番古い録音から再生されます。(ただし、最大192秒前でそれ以前は再生されません。)
- (3) 再生中に「停止」を選択すると、再生が停止します。



★ モードスイッチ利用有無が「ON」の場合、モードスイッチを13の位置にし、Fボタン、または、Modeキーの押下で、最初のブロックの録音再生を行えます。

3.2.9. 液晶コントラスト調整の方法

【画面 21】 から「3.コントラスト」を選択すると、【画面 29】 が表示され、液晶画面のコントラストが調整できます。

【画面 29】

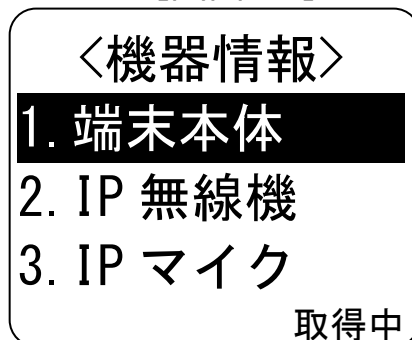


 で設定値を 1~15 の範囲で液晶画面の明るさの調整を行い  決定 を押します。

3.2.10. 機器情報

【画面 22】 から「5.機器情報」を選択すると、【画面 30】 が表示されます。

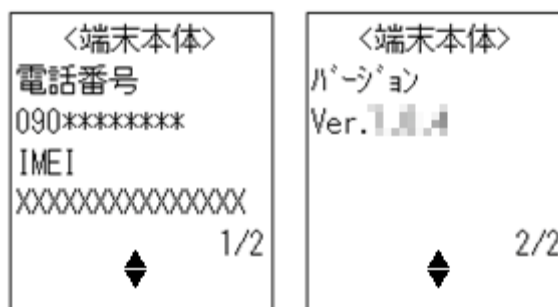
【画面 30】



- ・端末本体：USB スティックの情報を表示します。
情報の取得には 30 秒程度掛かります、
情報取得中は、画面右下に“取得中”
が点滅表示しています。
- ・IP 無線機：IP 無線機の情報を表示します。
- ・IP マイク：IP マイクの情報を取得します。

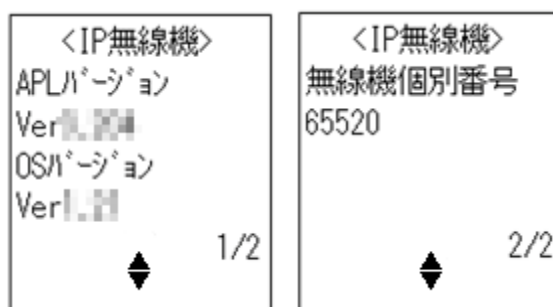
【画面 30】 から「1.端末本体」を選択すると、【画面 31】 が表示され、USB スティックの情報を確認できます。

【画面 31】



【画面 31】から「2.IP 無線機」を選択すると、【画面 32】が表示され、IP 無線機の情報を確認できます。

【画面 32】



【画面 31】から「3.IP マイク」を選択すると、【画面 33】が表示され、IP マイクの情報を確認できます。

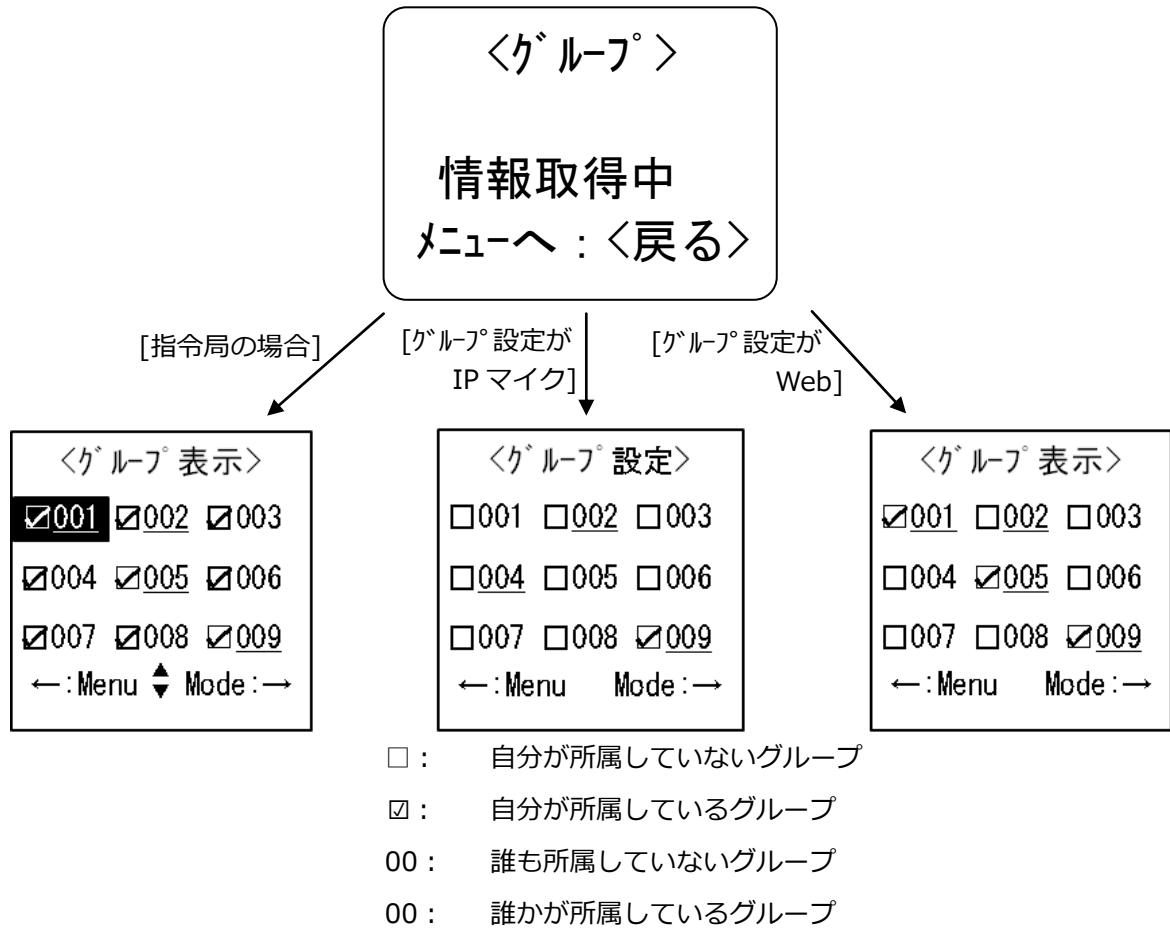
【画面 33】



3.2.11. グループ

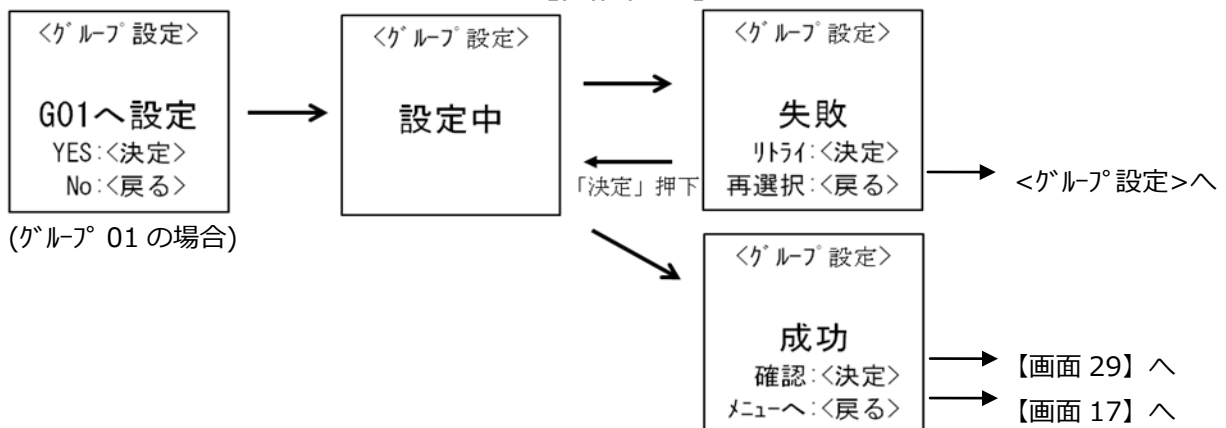
【画面 22】 から「6.グループ」を選択すると、【画面 34】 が表示され、グループ情報が取得されます。[指令局の場合]、[グループ設定が IP マイクの場合]、[グループ設定が Web の場合] で表示する画面が変わります。

【画面 34】



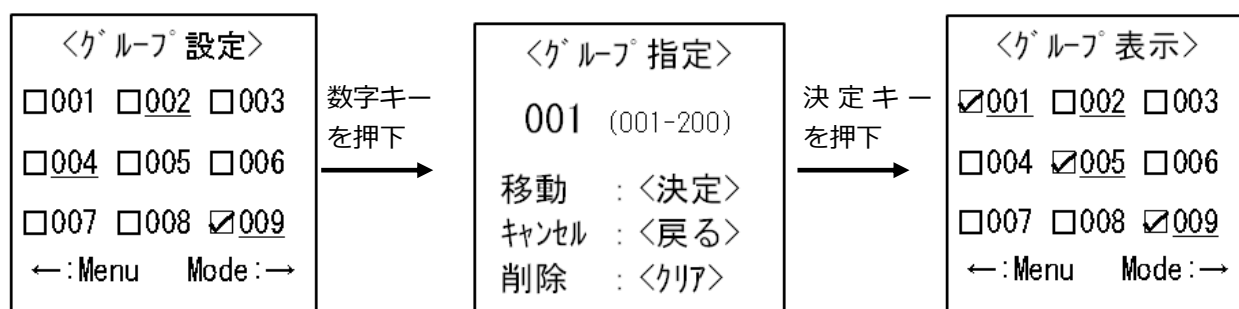
グループ設定が IP マイクの場合、所属するグループを変更することが可能です。☐で番号を選択し、所属したいグループ番号の所で、決定を押下します。所属可能なグループは1つとなります。

【画面 35】



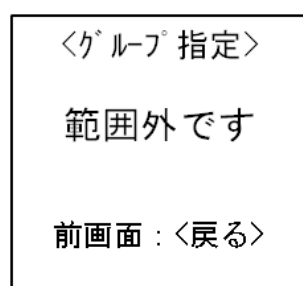
〈グループ設定〉の画面において、該当するグループ番号を数字キーで押下し、直接〈グループ指定〉の画面に遷移することも可能です。

【画面 36】



グループ番号で範囲外の番号(201~)を入力すると【画面 37】が表示されます。

【画面 37】



- ★ グループ設定を IP マイクにて行うには事前に登録が必要となります。
- ★ ご利用の環境によっては、正しいグループ情報が取得できない場合や、グループ情報取得が完了しない場合があります。
- ★ グループ割込を設定していて、【画面 35】においてグループ設定が成功した場合、設定したグループで通話が行われていると通話割込が可能です。【画面 38】のように通話に割込みます。ただし、地域呼出・近隣呼出は対象外です。

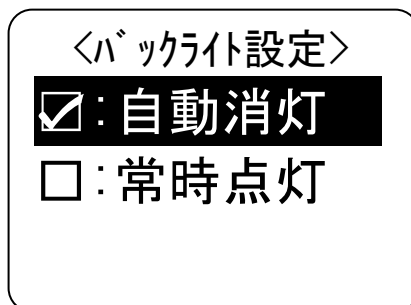
【画面 38】



3.2.12. バックライトの設定



【画面 22】 から「4.バックライトの設定」を選択すると、【画面 39】 が表示され、バックライトの点灯モードが設定できます。

【画面 39】



決定 : 【画面 1】 へ戻ります

戻る : 【画面 17】 へ戻ります


 で反転表示を上下して、バックライトの動作モードを選択し  で設定します。

自動消灯 : 最後の動作から 30 秒後に自動的に消灯します。(デフォルト)


常時点灯 : 常時点灯となります。

3.2.13. 発信履歴・着信履歴の方法

(1) 「発信履歴」の表示

を押すと、【画面 40】が表示されます。




 : 【画面 1】へ戻ります

 : 「着信履歴画面」へ遷移します

1/3 : 総ページ数と現在のページ数を表示します

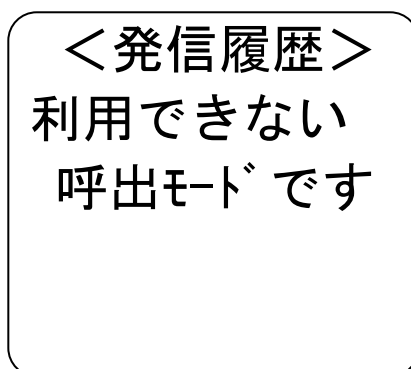


発信履歴には番号帳登録されている場合、番号帳に登録している名称を優先して表示します。但し、番号帳登録が全角 6 文字(半角 12 文字)の場合、末尾の文字が表示されません。発信に失敗した場合(通話 X)でも、発信履歴には表示されます。

※同じ移動局に発信した場合、上書きして表示します。で反転表示を上下して選択し、プレトークスイッチを押すと、呼出通話の画面が表示され、該当車両を呼出し、通話を行うことができます。

ただし設定ツールにて指定した以外の呼出モードを選択した場合は下記のエラーメッセージが表示されます。

【画面 43】



(2) 「着信履歴」の表示

発信履歴表示の状態再度 **履歴** を押すと、「着信履歴」画面が表示されます。

【画面 44】



戻る : 【画面 1】へ戻ります


履歴 : 「発信履歴画面」へ遷移します

1/9 : 総ページ数と現在のページを表示します

(表 6)呼出モードの表示内容

呼出モード種類	画面上の表示	番号の桁数
一斉	一斉	—
強制一斉	強制一斉	—
グループ	G	3 桁
強制グループ	強制 G	3 桁
個別	個別	4 桁
指令局 (移動局のみ)	指令局	2 桁
地域	地域	2 桁
近隣	近隣	—

※着信履歴は 1 画面 1 件で表示し、最大 9 件まで表示することができます。

 で反転表示を上下して選択し、プレトークスイッチを押すと発信画面が表示され、該当無線機に発信を行うことができます。ただし設定ツールにて指定した以外の呼出モードを選択した場合は下記のエラーメッセージが表示されます。

【画面 45】

＜着信履歴＞
利用できない
呼出モードです

個別着信の場合、着信通話マークが表示されます。



：着信時に通話した事を示す。



：着信時に通話しなかった事(応答なし)を示す。

着信履歴には番号帳登録されている場合、番号帳に登録している名称を優先して表示します。ただし、番号帳登録が全角 6 文字(半角 12 文字)の場合、末尾の文字が表示されません。

各受信時の着信履歴（例）を表示します。

(1)~(3)の右側の例は、下記番号帳が登録されている場合の表示となります。

(1)G001⇒B 営業所個別 (2)0001⇒A さん (3)指令局 01⇒班長が番号帳に登録されていると想定してください。

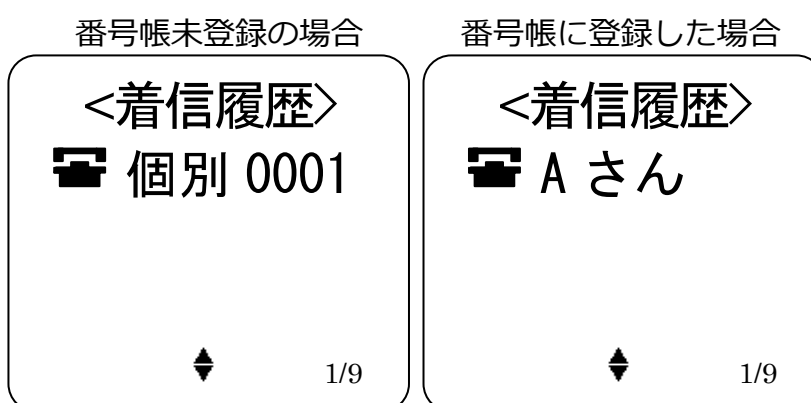
(1) 指令局 01 から G001 にグループ呼出を受けた場合

【画面 46】



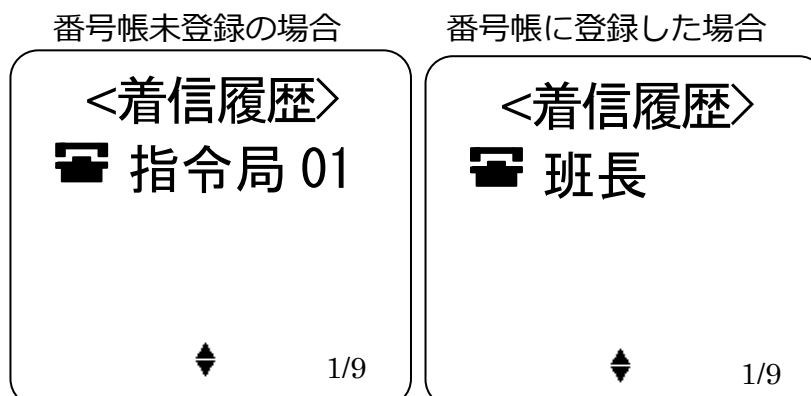
(2) 移動局 01 から個別呼出を受けた場合

【画面 47】



(3) 指令局 01 から個別呼出を受けた場合

【画面 48】



3.2.14. メッセージ受信機能

(1) メッセージの確認



を押すと、【画面 49】が表示されます。

【画面 49】

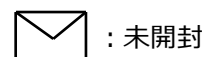
＜メッセージ 受信＞

1. 伝票 No. 777
2. A 社に寄って
3. 帰社下さい

◆ 1/3



: 開封済



: 未開封

1/3 : 総ページ数と現ページ数を表示します



【画面 50】

＜メッセージ 受信＞

4. 伝票 No. 12
5. 山田さんが
6. 山川社長か

◆ 2/3



【画面 51】

＜メッセージ 受信＞



7. 資料 No. 15
8. 田中さんが
9. なし

◆ 3/3

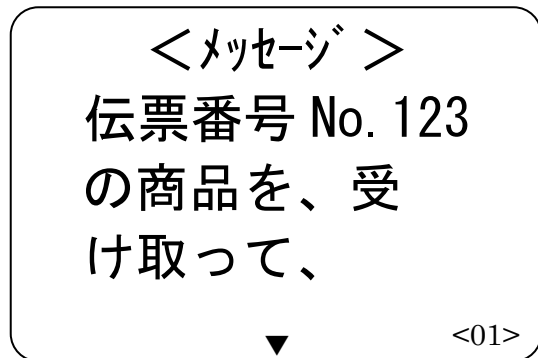


: 【画面 1】へ戻ります

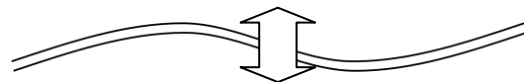
メッセージは最大 9 件蓄積されます。10 件以上になった場合、最も古いメッセージから削除されます。(未開封メッセージも含む)

 で反転表示を上下して  で選択するか、テンキーを押すと、【画面 52】
【画面 53】 のようにメッセージが表示されます。

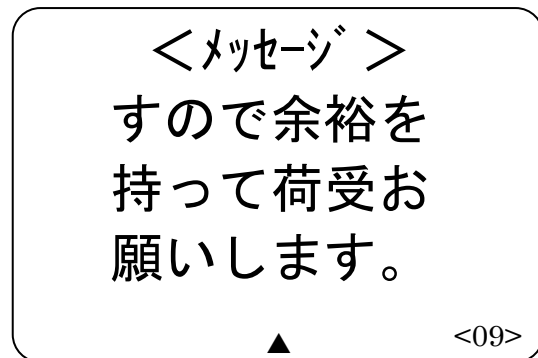
【画面 52】







<01>: ページ番号を表示します
(最大 9 ページ)



【画面 53】



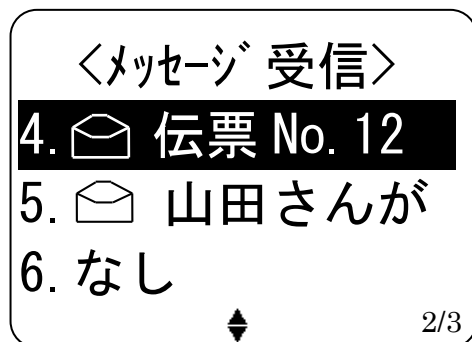
 で表示をスクロールさせて内容を表示させます。メッセージは 1 件につき全角
162 文字 (最大) 表示できます。

 で「メッセージ受信」画面へ戻り  表示が  に変更されます。



メッセージは IP 無線機の電源が OFF でも保持されています。ただし、メッセージは受信完了したものを保持しますが、電源 OFF 時や通信不能状態では、メッセージの受信を行う事ができませんので、【画面 49】以降のメッセージ一覧には表示されません。

(2) メッセージの削除

【画面 54】



2/3 : 総ページ数と現ページ数を表示します
(最大 3 ページまで)

 で削除したいメッセージ番号を選択し  を 3 秒以上押すとメッセージが削除されます。(1 度削除されたメッセージは戻すことができません)


メッセージが削除されると下位のメッセージが繰り上げ表示されます。


★ 注意 : 削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。


3.2.15. ショートカット(短縮)登録の方法

(1) ショートカット (短縮) の登録

ショートカット (短縮) の登録は以下に示す 4 パターンで行う事ができます。

①呼出モードの切替(P26 参照)で相手局を設定した画面で  を長押し(3 秒以上)する。

②発信履歴画面(P43 参照)で  を長押し(3 秒以上)する。

③着信履歴画面(P44 参照)で  を長押し(3 秒以上)する。

④番号帳画面(P53 参照)で  を長押し(3 秒以上)する。

【画面 55】

〈ショートカット登録〉

- なし
- なし
- なし

◆ 1/3

戻る : 【画面 1】 に戻ります

1/3 : 総ページ数と現在のページ数を表示します
(最大 3 ページまで)

☰ でメッセージをスクロールさせて登録する番号を決め 決定 を押すと【画面 56】のように登録されます。

【画面 56】

〈ショートカット登録〉

- なし
- 個別 0999
- なし


◆ 1/3

戻る : 【画面 1】 に戻ります

1/3 : 総ページ数と現在のページ数を表示します
(最大 3 ページまで)


ショートカット（短縮）は最大 9 件登録ができます。

(2) ショートカット（短縮）からの発信


 を短押し（3 秒未満）すると、「ショートカット発信」【画面 57】が表示されます。

【画面 57】





 : 【画面 1】に戻ります

1/3 : 総ページ数と現在のページ数を表示します
(最大 3 ページまで)

 で発信対象の番号を選択し、プレストークスイッチを押し続けると発信画面が表示され、該当無線機に発信することができます。

(3) ショートカット（短縮）の削除

「ショートカット発信」【画面 57】で、 で削除したいショートカット（短縮）を選択し  を 3 秒以上押すとショートカット（短縮）が削除されます。（1 度削除されたショートカット（短縮）は戻すことができません）

ショートカット（短縮）が削除されると下位のショートカット（短縮）が繰上げ表示されます。

★ 注意：削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。

3.2.16. 非常送信機能(RED ALERT)

IP マイク上部の非常スイッチを押すことで、非常状態を通知することができます。通知された非常状態は Web 画面上で確認することができます。(本機能の利用のためには、別途オプションサービスの加入が必要)

非常スイッチを 3 秒以上 ON にすると、【画面 58】のように「★」が表示されます。


【画面 58】

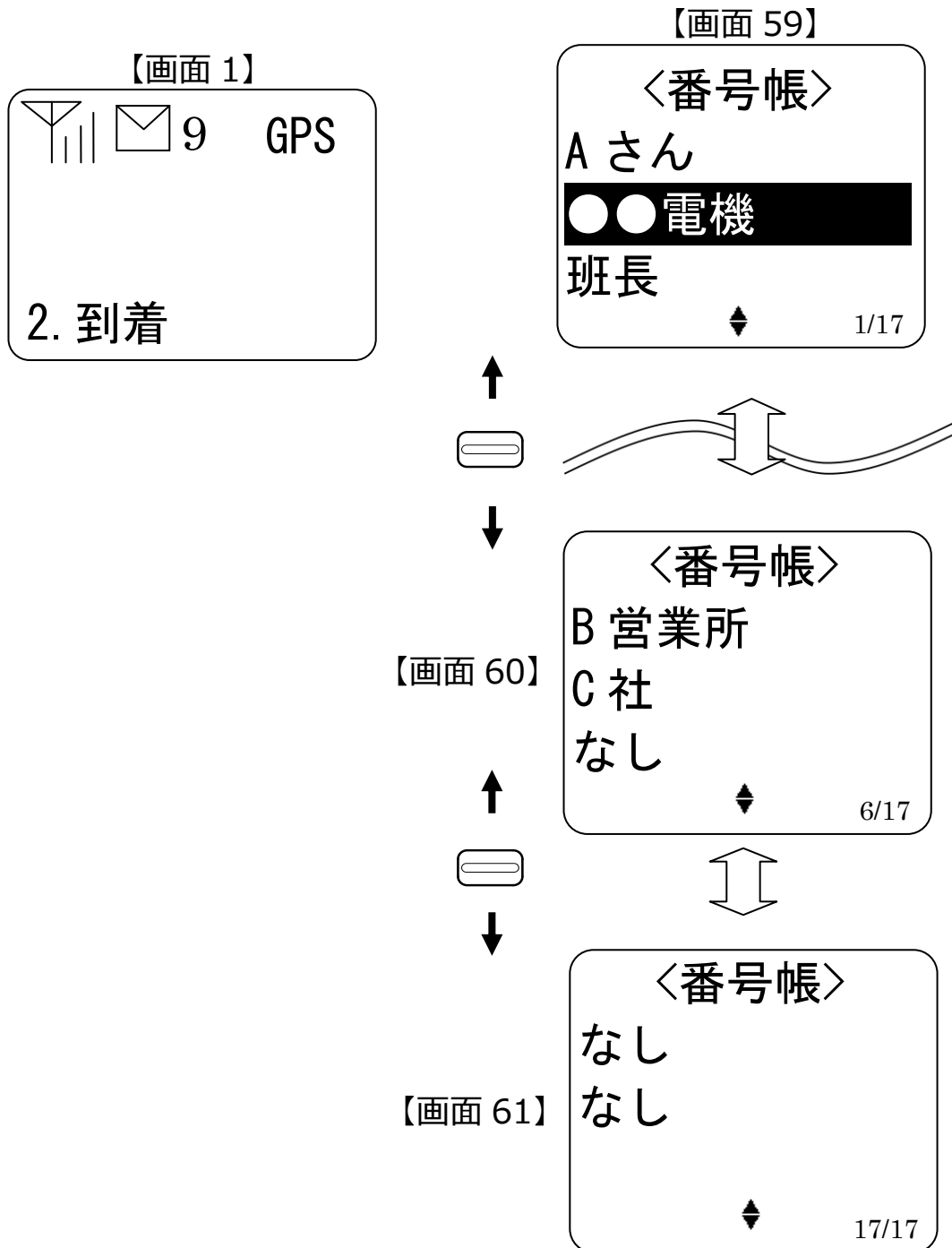


上記状態で非常スイッチを 3 秒以上 ON にすると、「★」表示が消えて非常状態がリセット（解除）されます。また、IP 無線機の電源 OFF でも非常状態はリセット（解除）されます。


(注) 非常スイッチを押して非常送信を行った場合は、非常状態を解除するために、必ず再度非常スイッチを 3 秒以上押してください。(または一旦電源を切ってください)

3.2.17. 番号帳の閲覧方法

設定ツールで設定した情報に基づき、最大 50 件の番号を名称で表示できます。【画面 1】より  の上下操作により番号帳【画面 59】が表示されます。

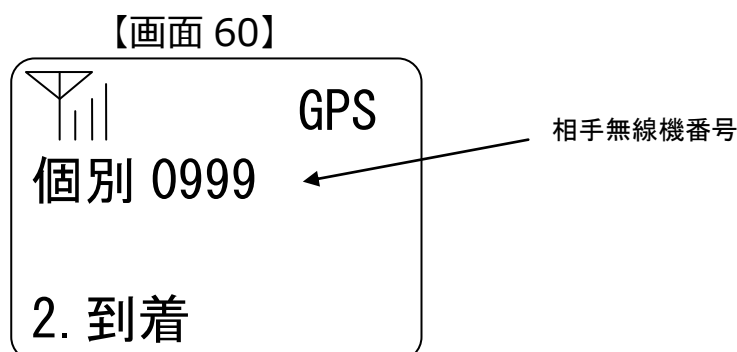


1/17 : 総ページ数と現在のページ数を表示します
(最大 17 ページまで)

 で発信対象の名称を選択し、プレストークスイッチを押し続けると発信画面が表示され、該当無線機に発信することができます。

3.2.18. 待受画面発信

【画面 6】のように終話状態で相手局番号が表示されている時に、プレストークスイッチを押下すると、該当無線機に発信を行います。



【画面 6】のように終話状態で相手無線機番号が表示されている時に、テンキーを押すと、呼出モードはそのまま新しい番号を設定することができます。また、**Mode** を押すことで、次の呼出モードに移行することができます。

★ 待受画面の表示は、設定ツールにて個別に設定する事が出来ます。(下記 3.2.19 待受設定参照)

3.2.19. 待受設定

IP マイク接続時、終話状態時等で表示される画面（待受画面）を以下 4 つのうちから任意の一つ選択することができます。

※ 設定については、最新版の IP マイク設定ツールご利用マニュアルを参照願います。

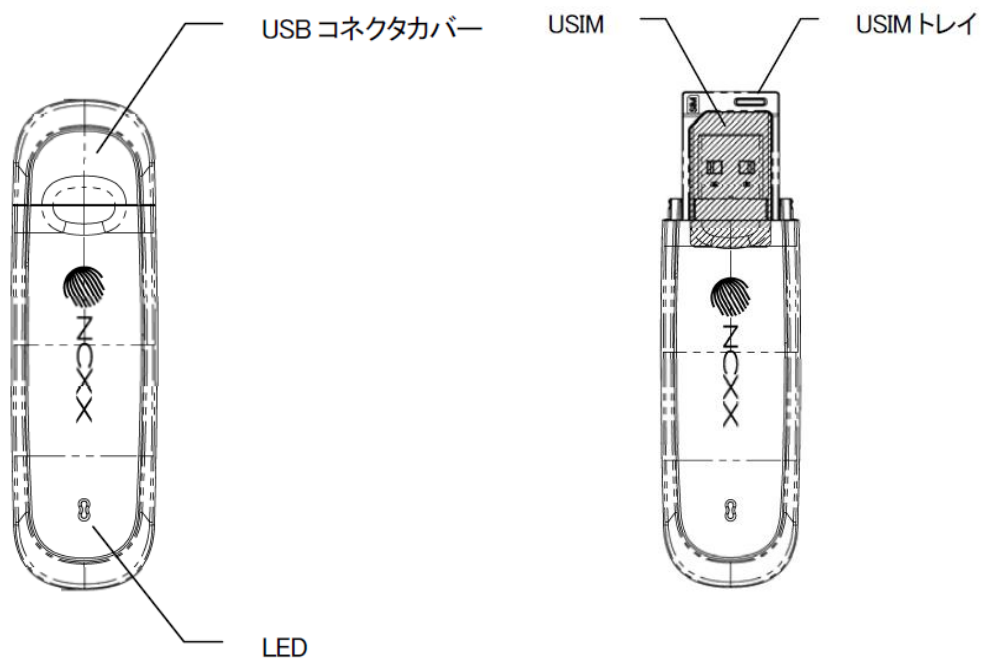
(表 7)待受設定の内容

最終通話	最後に通話した相手を表示
発信履歴	最後に発信した相手を表示
着信履歴	最後に着信した相手を表示
デフォルト	デフォルト呼出設定で指定した呼出モードと番号を表示

3.3. 端末本体(USB スティック)

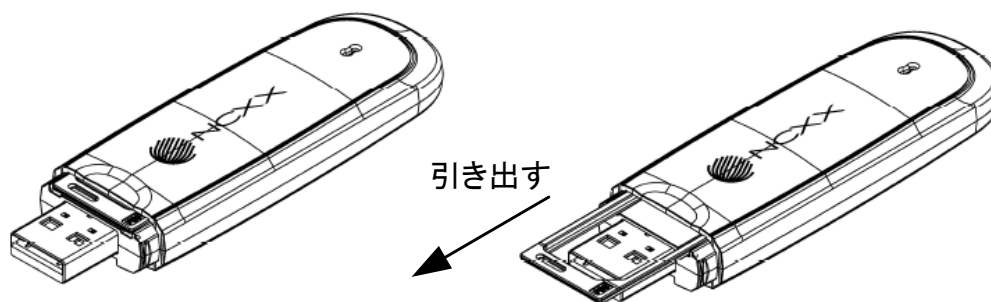
3.3.1. 各部の名称とはたらき

① 構造



② USIM カードの挿入

USB コネクタカバーを外して USIM トレイを引き出してください。



③ 電波レベル表示 (LED)

No.	電波状態	待ち受け／ダイヤル中	通信中(回線接続状態)
1	電波強度 強	青 (点滅)	青 (点灯)
2	電波強度 弱	緑 (点滅)	緑 (点灯)
3	圏外	赤 (点滅)	

(4)通信状態表示 (LED)

No.	状態	表示
1	電源OFF時	 (消灯)
2	電源ON時	 (点灯)
3	起動準備	 (消灯)
4	起動中	     
5	USIM確認 ネットワーク検索中	 (点灯)
6	USIMエラー時 (未挿入など)	 (点灯)

■ 4 編 仕様 ■

4.1. 環境仕様

No.	項目	仕様	備考
1	動作温度	-10℃～50℃	
2	保管温度	-20℃～60℃	
3	湿度	30～90%RH 無結露	
4	電源電圧	DC10.8～15.18V DC23.76～29.04V	DC12V 車 DC24V 車
5	衝撃	ピーク加速度 150m/s ² 11ms	
6	振動	加速度 4.5G 5～200Hz 掃引速度 10 分	

4.2. 機器仕様

■ IP 無線機 ■

(1)構造	
・形状	ユニットタイプ (車載取付可)
・外形寸法 (本体)	115(W)×25(H)×135(D)
・質量	700g 以下
・色	黒
(2)データ通信方式	Packet UL:W-CDMA,HSUPA DL:W-CDMA,HSDPA
(3)音声符号化方式	G.729 Annex A
(4)通信形態	プレストーク方式
(5)外部マイクインタフェース	600Ω -44dBm±3dB
(6)外部スピーカ定格出力	8Ω 定格 1W 最大 2W
(7)AVM インタフェース	1ch
(8)GPS インタフェース	アンテナ外付け 50Ω
(9)USB インタフェース	201SJ 端末本体接続用 USB2.0 準拠
(10)電源電圧	+12.0V-10% ~ DC13.8V+10% +26.4V±10%
(11)消費電流	音声着信時 1A 以下 待機時 0.5A 以下
(12)関連規格	VCCI class A

■ IP マイク ■

<機器仕様>

(1)構造	
・形状	据え置き型（車載取付可）
・外形寸法	55.0(W)×140.0(H)×35.0(D)
・質量	200g 以下
・色	樹脂色 黒/印刷色 白
(2)通信形態	プレストーク方式
(3)マイク入力レベル	600Ω -44dBm±3dB
(4)スピーカ定格出力	8Ω 定格 1W 最大 2W
(5)電源電圧	+10.0V ~ DC15.1V
(6)消費電流	0.2A 以下

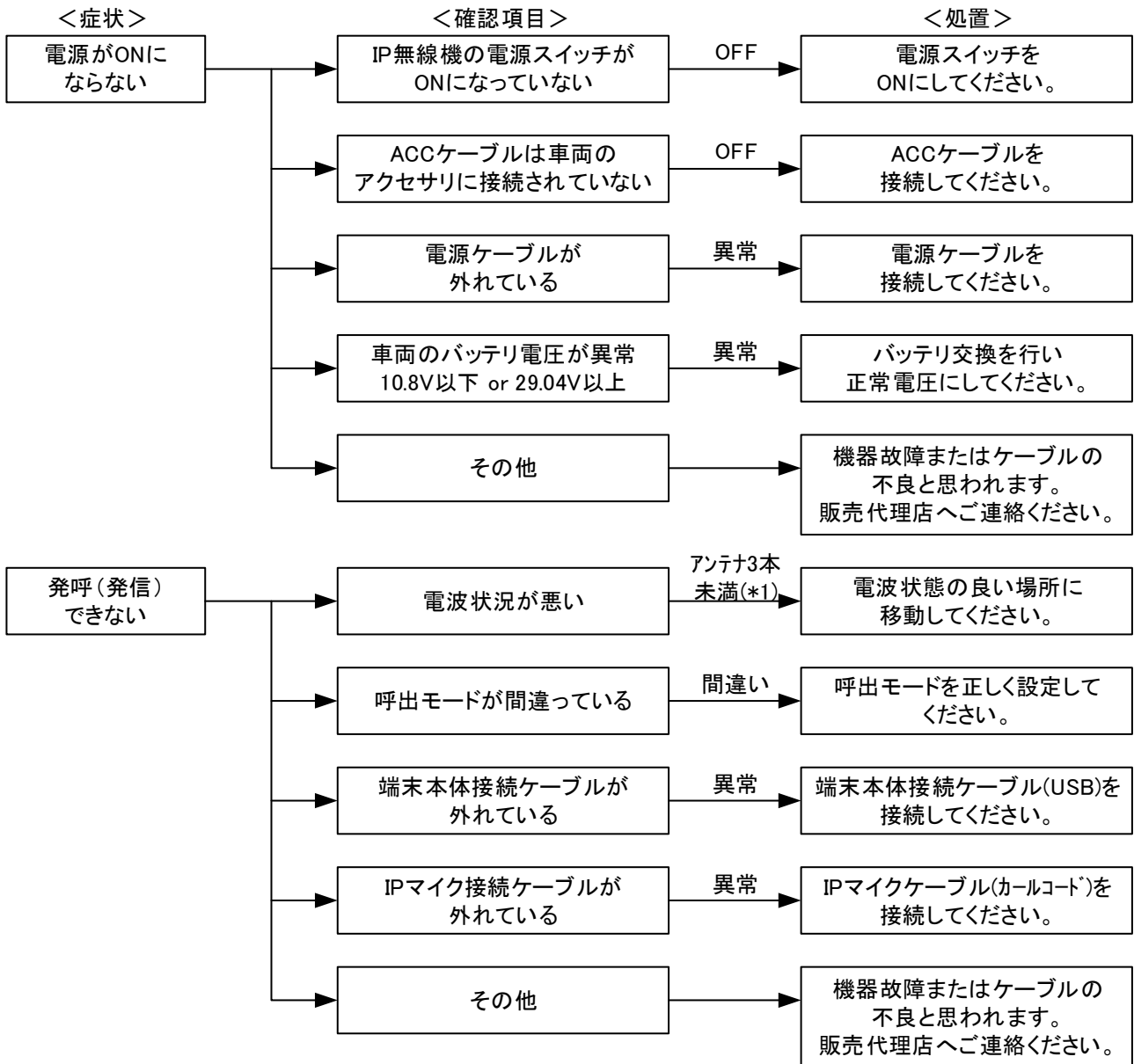
<表示器・操作部>

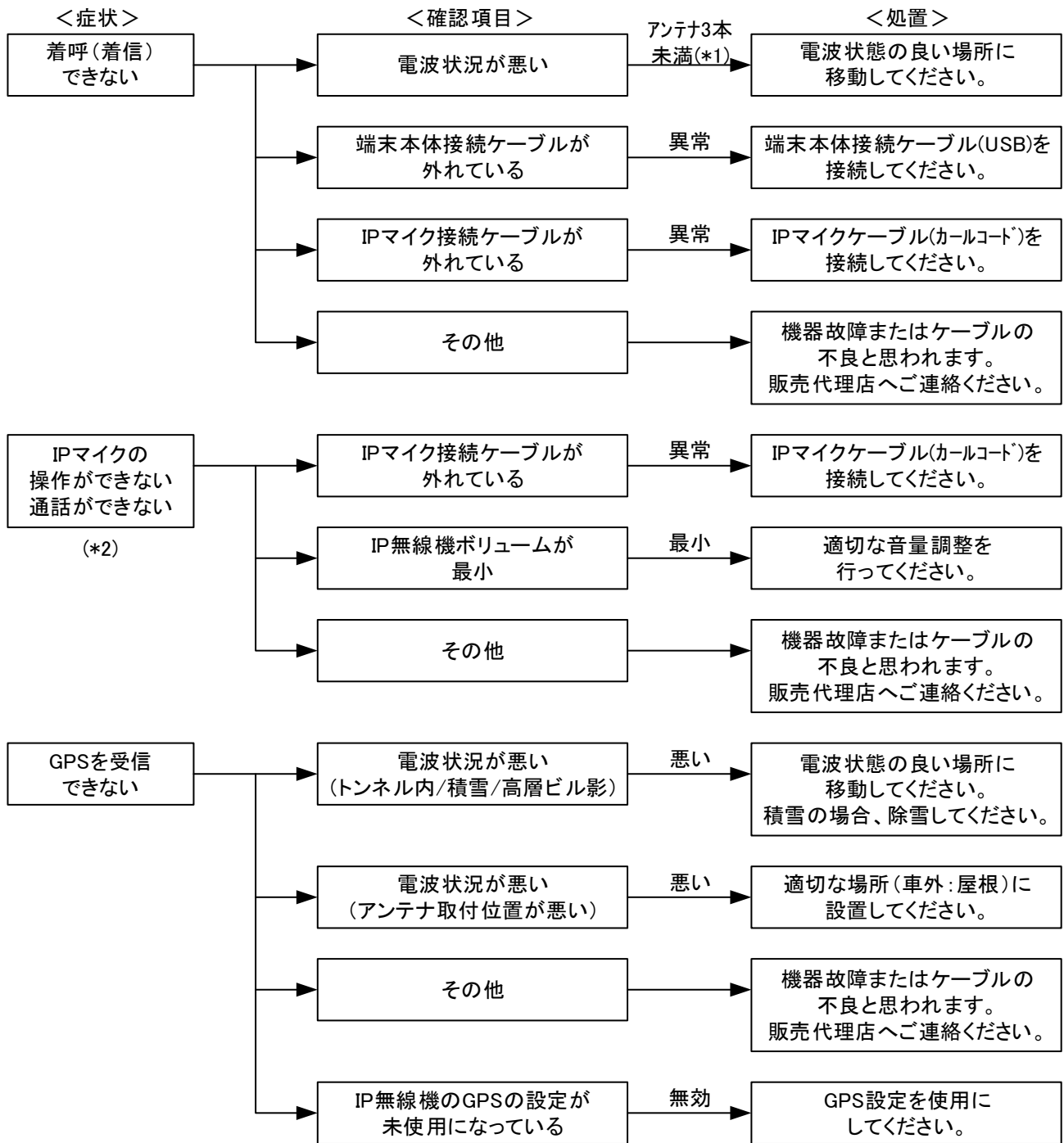
(1)液晶表示器	かな漢字 8文字×5行 LED バックライト照明付き（コントラスト調整機能付き）
(2)LED	送信 赤 着信 緑
(3)操作キー	Menu キー
	スクロールボタン
	Mode キー
	F（ファンクション）ボタン
	決定キー
	履歴キー
	短縮キー
	クリアキー
	戻るキー
	メッセージキー（吹き出し絵）
	テンキー（0～9）
特殊キー（*, #）	
(4)プレストークスイッチ	本体側面に実装。押下で通話が可能となります。
(5)非常スイッチ	本体上面に実装。非常送信を行う時に使用します。

■ 端末本体(USB スティック) ■

(1)構造	
・形状	USB スティック
・外形寸法	26.0(W)×11.6(H)×87.5(D) 許容誤差 ±0.5 (USB カバー含む)
・質量	約 22g (USB カバー含む)
・色	樹脂色 黒/印刷色 白
(2)データ通信方式	Packet UL:W-CDMA,HSUPA DL:W-CDMA,HSDPA
(3)無線インタフェース	
・無線アクセス方式	W-CDMA,HSDPA,HSUPA
・使用周波数帯	UL 1962.6MHz ~ 1977.4MHz DL 2152.6MHz ~ 2167.4MHz
・占有周波数帯域	5.0MHz
・送信出力	24dBm(Power Class 3)
・伝送速度	UL 384kbps(W-CDMA)/5.7Mbps(HSUPA) DL 384kbps(W-CDMA)/7.2Mbps(HSDPA)
・アンテナ	内蔵
(4)外部インタフェース	USB2.0 準拠 コネクタ USB-A(Plug)
(5)制御コマンド	ITU-T V.25ter & TS27.007 AT コマンド準拠
(6)電源電圧	+5.0V±10% (USB コネクタ受電)
(7)消費電流	500mA 以下
(8)突入電流	3A 以下 (4μs 以下)
(9)関連規格	JATE/TELEC/ARIB
	STD-T63/EMC(ARIB STD-T57)
	UL/USB specification 2.0

■ 5編 こんなときは ■





*1:アンテナ 3 本の場合でも一時的に発着信できない場合があります。

*2:通話が途切れる場合や接続が途中で切れる場合は、電波状況が悪い状態とされます。電波状態の良い場所に双方が移動してください。

■ 6 編 アフターサービス ■

修理を依頼されるときは、“5編 こんなときは”を一度お読みの上、操作に間違いがないか今一度お確かめください。

それでも異常が認められる場合には使用を中止し、お買い上げの販売店までご相談ください。

6.1. 保証期間

保証期間はお買い上げ日より1年間です。

本書の説明・指示に従った正常な使用状態で故障した場合には、販売店または当社が無償で修理します。但し、誤使用・過失あるいは天災・火災などの不可抗力によって生じた故障については有償となります。

なお保証期間内であっても以下の場合には有償となります。

- ① 保証書のご提示が無い場合。
- ② 保証書の所定事項の未記入、字句の書き換えられたもの、および販売代理店名の表示が無い場合
- ③ お買い上げ後の輸送、事故、落下等による故障または損傷
- ④ 火災、地震、落雷、水害、塩害、公害その他天災地変および異常電圧、指定外の使用電源等による故障または損傷
- ⑤ 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障または損傷
- ⑥ 消耗品が自然消耗、摩耗、劣化した場合
- ⑦ 本来の目的以外に使用された場合の故障または損傷
- ⑧ 本装置以外の機器や設置環境・電波障害に起因する故障または損傷
- ⑨ 薬品等の蒸気が発散している所や薬品に触れるところに放置した場合
- ⑩ 本装置を分解または改造した場合

保証期間を過ぎている場合、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理致します。但し、次のような場合は修理をお断りすることがあります。

- ① 当社に無断で機器の改造・仕様変更を実施している場合。
- ② 当該機器の製造中止から7年を経過し、保守部品の確保が出来ない場合。
- ③ 故意に破壊もしくはこれに準じた理由で回復不可能な場合。
- ④ その他、修理によって機能の回復が不可能な場合。

6.2. 免責事項

- ① 本装置の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ② 故障または修理により、お客様が登録/設定した内容が消失/変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本装置に登録されているデータや設定した内容が消失/変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ③ 本装置を分解/改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は、修理をお引き受けできません。

6.3. 盗難に遭った場合

本装置が盗難に遭った場合、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。

連絡先「ソフトバンク・ビジネスコールセンター」

Tel 0800-919-3909 (無料)

ご連絡していただきたい項目

- ① 商品名 (201SJ 標準セット)
- ② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ ご連絡先電話番号

6.4. ご利用を停止される場合

本装置のご利用を停止される場合は、ご利用停止の手続きを行ってください。

連絡先「ソフトバンク・ビジネスコールセンター」

Tel 0800-919-3909 (無料)

ご連絡していただきたい項目

- ① 商品名 (201SJ 標準セット)
- ② お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ ご連絡先電話番号
- ④ ご利用停止予定日

6.5. 修理のご依頼

修理をご依頼される場合は、お買い上げ販売代理店までご連絡ください。

保証期間中の場合は、保証書にお客様情報欄にご記入の上、機器に同封してください。

6.6. お問い合わせ先

お困りの時や、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。



Radio Communication Solutions

株式会社 ジャパンエニックス

JAPAN ENIX CO.,LTD.

- 本 社 東京都品川区南品川 2-7-18 TEL 03-5715-2351
- 関 西 支 店 大阪市西区千代崎 1-24-11 TEL 06-6583-7700
- 札幌営業所 名古屋営業所
- 仙台営業所 九州営業所

<https://www.jenix.co.jp/>

営業所住所はこちら▶

